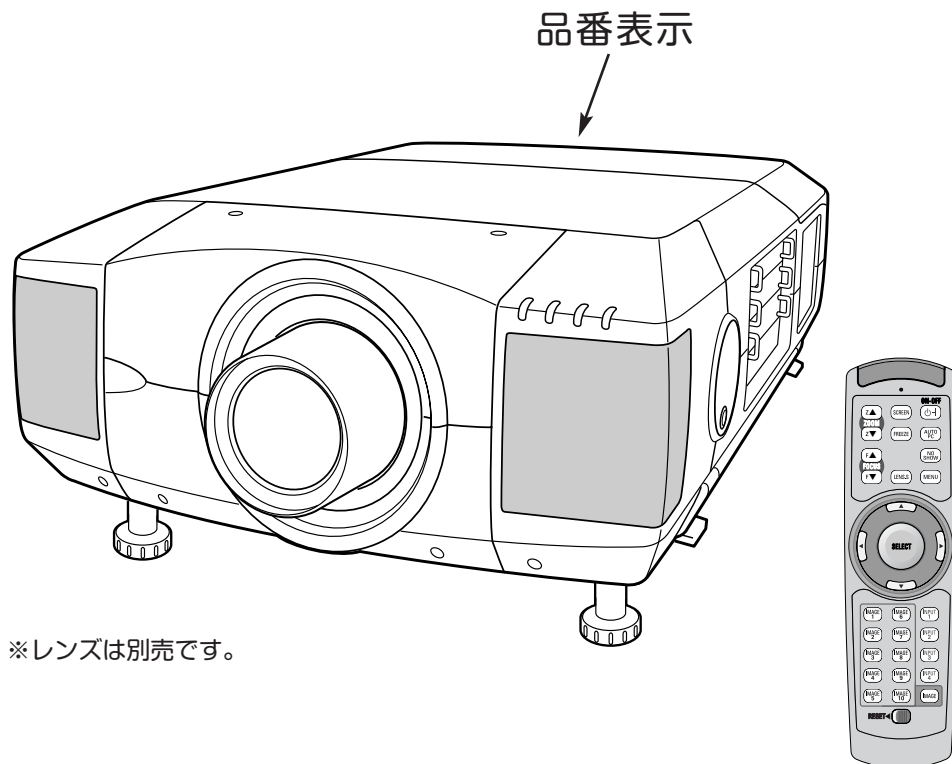


液晶プロジェクター 品番 LP-HD2000 取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使い下さい。とくに4～10ページの「安全
上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書と併せて、いつ
でも取り出せるところに必ず保管してください。わ
からないことがあったときなどにお役に立ちます。

お買い上げ商品の品番は後面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください



本製品は200V電源仕様です。200V電源についての詳しくは取扱販売店
にご相談ください。

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（ ）内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

コンピュータ対応液晶プロジェクター LP-HD2000 の特長

2048 x 1080ドットの高解像度液晶パネルの採用により、2K信号にリアル対応。

遠隔操作でスマートなプレゼンテーションを可能にするワイヤレス・ワイヤード兼用リモコンを付属

Dual-Link SDI 搭載

Dual-Link SDIの採用により、高画質デジタルコンテンツである2K信号（2048 X 1080）をリアル投射できます。

また、Single-LinkによるHD SDI信号およびSD SDI信号も投射できます。

DVI-I（デジタル インターフェイス）搭載

デジタル ビジュアル インターフェイス（DVI）の採用により、コンピュータの画像をより鮮明に、またプログレッシブ スキャン の採用により、ビデオ映像やHDTV信号もより高画質に投射できます。HDCP技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投射できます。

マルチ プラットフォーム

豊富な入出力端子およびカードスロット式接続端子の採用により、ハードおよびソフト環境の異なる各種コンピュータおよびビデオ機器に幅広く対応できるマルチプラットフォーム設計になっております。

カード スロット式接続端子

接続端子の入れ替え可能なカードスロット式接続端子により、端子カードの入れ替えで外部機器またはシステム組込みに合わせてプロジェクターを使用することができます。

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

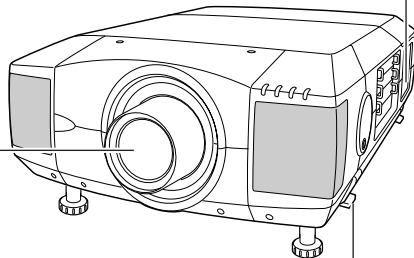
- ◆ 天吊り、据置、リア投射など、さまざまな設置方法に対応。
- ◆ ボタン操作でレンズを上下左右にスライドさせ、画面の位置決めを容易にする電動レンズシフト機能。
- ◆ コンピューターの種類の判別と最適設定を自動で行なうマルチスキャン システムと自動PCアジャスト機能。
- ◆ 画面を一時的に静止させる FREEZE ・ 画面を一時的に消す NO SHOW 機能。
- ◆ 海外の映像システムにも対応する6カラーシステム。
- ◆ DVD プレーヤーや HDTV などからのコンポーネント映像出力にも対応。
- ◆ 点灯ランプを自動的に切り換える4 ランプ システム。

ネットワーク ボード（別売）に対応

ネットワークボードを装着することにより、プロジェクターをネットワーク経由で操作・管理することが可能。

満足の明るさと高精細大画面

- 約663万画素の高精細画像で2K信号画像をリアル投射
- 300W高輝度 ランプを4灯使用し、またハイコントラストフィルムの採用により、高輝度化とハイコントラスト化を実現
- 40～600インチの大画面（レンズにより異なります。）



設置調整を容易にする機構設計

- 画像位置の調整を容易にする上下左右電動レンズシフト機能を搭載
- 持ち運びや設置に便利な収納式キャリングハンドルと傾き調整ハンドルを両側面に装備

入れ替え可能なカードスロット式 コンピュータ・ビデオ入力端子

- 3種のカードスロット Dual-link SDI (BNC x 4ピン)、コンポーネント映像 / RGBアナログ共用 (BNC x 5ピン)、RGBデジタル / RGBアナログ (DVI-29ピン)、を標準装備
- コントロールポート、ワイヤード リモコン端子、シリアル入出力ポートも装備



ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン

- プロジェクターとリモコンを別売のコードでつなげば、ワイヤード リモコンに変身

目次

安全上のご注意 4

はじめに 11

付属品を確認してください 11

各部の名称 12

本体各部のなまえ 12
機器をつなぐ端子 13
本体操作パネルのボタン 14
リモコンのボタン 15

リモコンの準備 16

設置 18

設置のしかた 18

接続 20

コンピュータを接続する 20
ビデオ機器を接続する 21
電源コードを接続する 22

基本操作 23

電源を入れる 23
電源を切る 24
ランプマネージメントについて 25
投映画面を調整する 27
画面を一時的に静止させる 28
画面を一時的に消す 28

メニューの操作 29

オンスクリーンメニューの操作方法 29

入力信号・システムの選択 31

入力を切り換える 31
システムを選択する 33
走査方式を選択する 34

画面の調整 35

ディスプレイ調整 35
イメージの調整 39
マニュアルでイメージ調整を行なう 41

設定 46

各種セッティング 46

保守とお手入れ 50

カードスロット式接続端子の交換 50
光源ランプの交換 51
エアフィルターの掃除 53
内部の温度上昇について 54
インジケータ表示とプロジェクターの状態 55
故障かなと思ったら 56

付録 57

コンピューターシステムモード一覧 57
寸法図 58
メニュー内容一覧 59
仕様 61
別売品 62
端子の仕様 63

保証とアフターサービス 64



安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|--|
|  警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

■絵表示の例



感電注意

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
(左の絵表示は感電注意を意味します。)



分解禁止

⊘の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左の絵表示は分解禁止を意味します。)



電源プラグを
コンセントから抜け

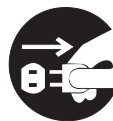
●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
(左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。)

警告

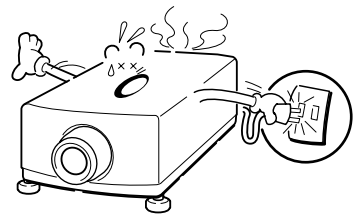
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



警告



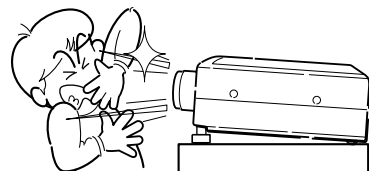
電源プラグを
コンセントから抜け



- 使用中はレンズをのぞかないでください。強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。



警告



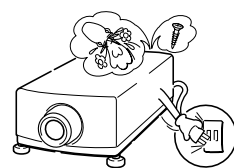
- 万一本機の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



- 万一異物が本機の内部に入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて修理を販売店にご依頼ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

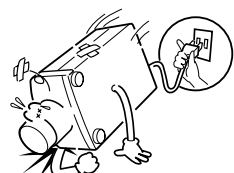
- 万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



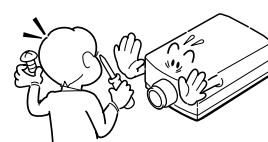
- 本機のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



感電注意



- 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止



水ぬれ禁止

- 表示された電源電圧（交流 200 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

警告

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

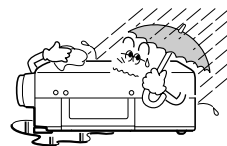


風呂、シャワー室での使用禁止

- 本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



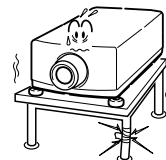
水ぬれ禁止



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



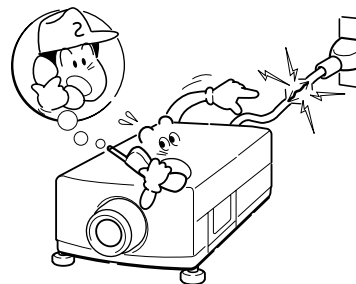
禁止



- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



禁止



- 電源コードが傷んだら、(芯線の露出、断線など) 販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

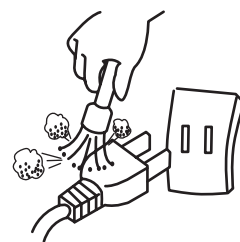
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。

- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。(結露するところや水槽の近くは特にご注意を)



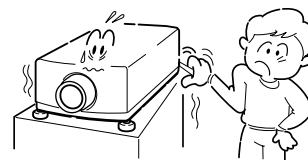
電源プラグを抜いて清掃



- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



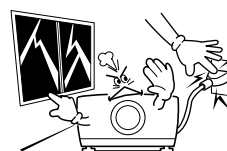
禁止



- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

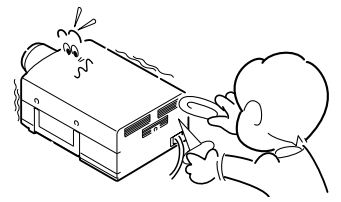


警告

- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。火災・けがの原因となります。



禁止



- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 本機は接地端子の付いた 3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードのアース端子を接地してください。(詳しくは、22ページをご覧ください。)



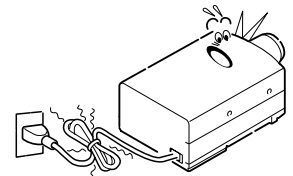
アース線を接続せよ

注意

- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。



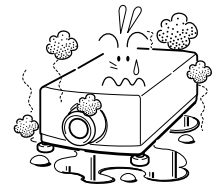
禁止



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



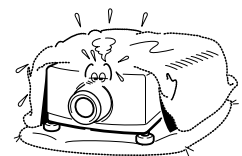
禁止



- 内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。ご使用の際は、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。設置のときは、壁などをファンの排気口から 1メートル以上空けてください。



禁止



次のような使い方はしないでください。

* 横倒しなど、指定以外の方向に、設置しないでください。

* 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。

* じゅうたんや布団の上に置く。

* テーブルクロスなどを掛ける。

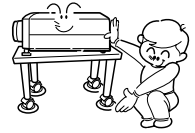
また、壁など、周囲のものから 1メートル以上はなし、風通しをよくしてください。

⚠ 注意

- キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



注意



- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



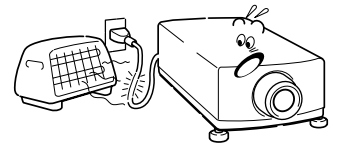
禁止



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。



禁止



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



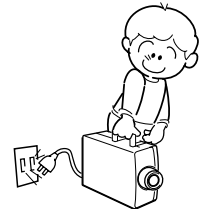
ぬれ手禁止



- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



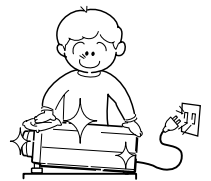
電源プラグを
コンセントから抜け



- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



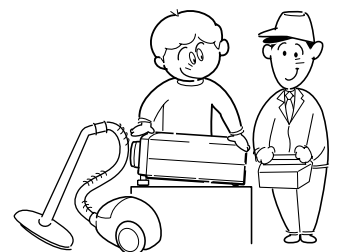
電源プラグを
コンセントから抜け



- 長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用などは販売店にご相談ください。掃除は梅雨の前が効果的です。



注意



正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。別売レンズ取り付け後は、持ち運ぶとき、レンズの保護のためにレンズキャップをはめ、専用のケースに納めて運んでください。車両・航空機などを利用して持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。

輸送の時はレンズを取り外してください

プロジェクターを輸送するときは、必ずレンズを取り外し、プロジェクターのレンズ取付け穴部へカバープレートを取り付けて輸送してください。レンズを取り付けたままで輸送すると、レンズ本体の重みでプロジェクターを破損する原因となります。取り付け、取り外しの詳しくは、別冊の「レンズ交換・取付作業手順書」をご覧ください。

お手入れについて

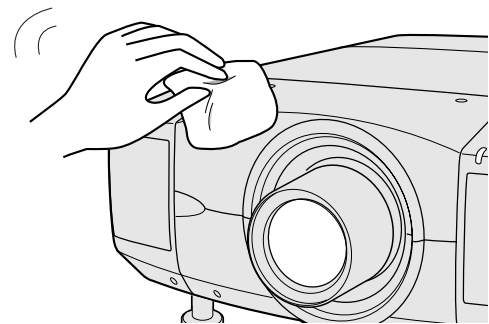
本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

別売レンズ取り付け後は、レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズカバーをはめ、ダストカバーをかぶせて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

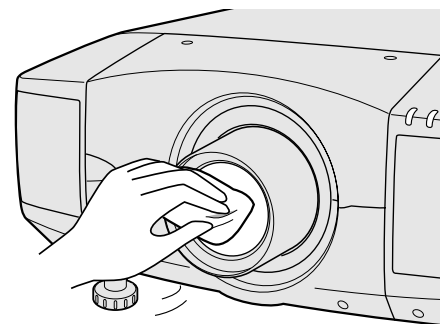


● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。



● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）で行なってください。レンズの表面は傷つきやすいので、固いものでこすったり、たいたりしないでください。

● エアフィルターのお手入れ ●

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。（掃除のしかたは 53 ページを参照）

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

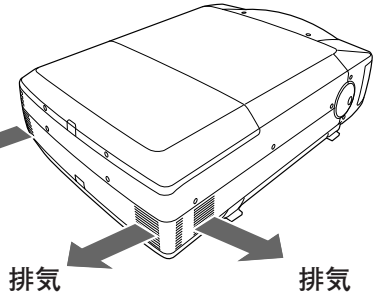
排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

- ・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・観葉植物やペットを置かないでください。
- ・熱で変型したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・排気口付近には視聴席を設けないでください。



注意

排気



排気

排気



熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。手で触れたりしないでください。やけどの原因になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。空調の吸排気口の近くに設置しないでください。空調の排気熱で故障や事故の原因となります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲

5℃～35℃

保管温度範囲

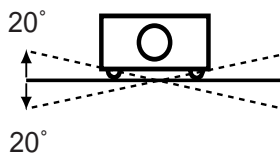
-10℃～60℃

● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

正しい方向に設置してください

プロジェクターは正しい方向に設置ください。誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となります。



左右への傾きは各 20°
以内としてください。

傾きは 20° 以内に



横に立てて設置して投影し
ないでください。

横置き禁止



上向き禁止

上向きに設置して投影し
ないでください。



下向き禁止

下向きに設置して投影し
ないでください。

● ご注意・著作権について ●

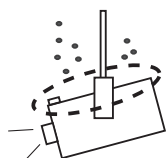
この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り替え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行ないますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

安全上のご注意・はじめに

エアフィルターを定期的に掃除してください

吸気口のエアフィルターは、プロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。長期間プロジェクターの安全と性能を維持するためには、エアフィルターを定期的に掃除することが必要です。掃除の目安はプロジェクターをご使用になる環境によって異なります。通常的生活環境でプロジェクターをご使用になる場合は、約200時間のご使用のたびにエアフィルターの掃除をされることをおすすめします。ホコリや煙が多い場所でプロジェクターをご使用になる場合、その状況によってこまめに掃除を行なってください。エアフィルターの掃除の手順は53ページをご覧ください。

天井から吊り下げてご使用になるときに

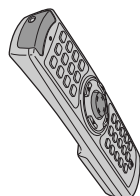


天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルターの掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についてのホコリは掃除機などで取りのぞいてください。

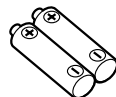
付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

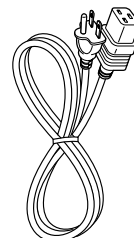
① リモコン



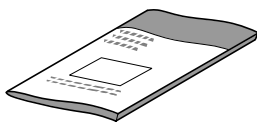
② リモコン用アルカリ乾電池
(単三形2本)



③ 電源コード



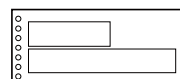
④ 取扱説明書(本書)



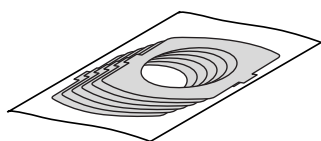
⑤ レンズ交換・
取付作業手順書



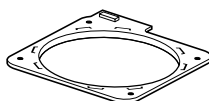
⑥ 保証書



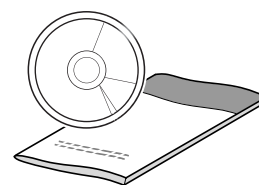
⑦ 遮光プレート(6種)



⑧ レンズ取付金具



⑨ Real Color Manager Pro



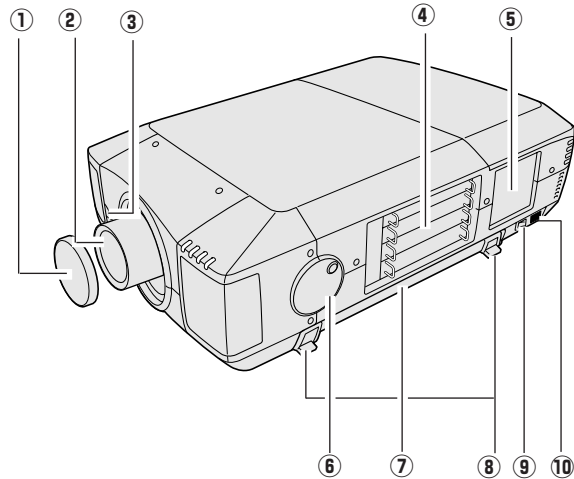
● 電波障害自主規制について ●

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

各部の名称

本体各部のなまえ

前面



! ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

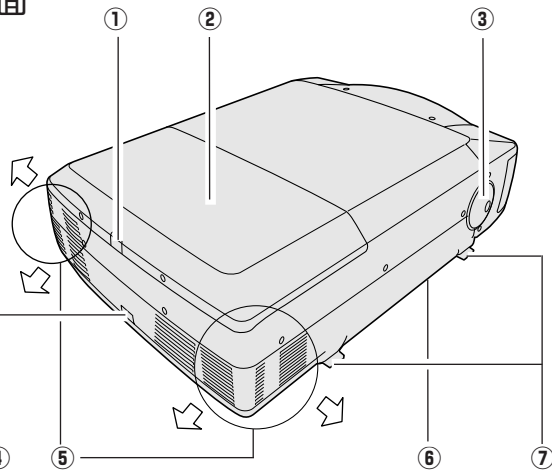
- ① レンズキャップ (別売) * 1
- ② レンズ (別売)
- ③ リモコン受信部-1
- ④ 側面端子
- ⑤ 操作パネル
- ⑥ 傾き調整ハンドル
- ⑦ キャリングハンドル
- ⑧ ロックレバー
- ⑨ 主電源スイッチ
- ⑩ 電源コード接続ソケット

* 1



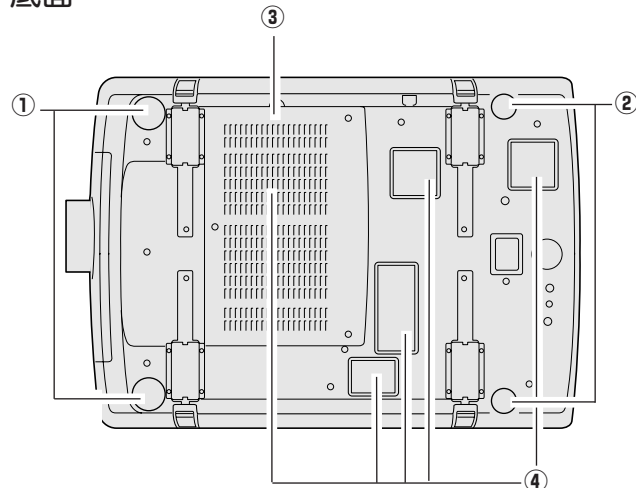
別売レンズにはレンズキャップが付いています。外すときは、レンズキャップの両端をもって手前に引いてください。ランプ点灯中はレンズキャップをかならず外してください。レンズキャップをつけたまま点灯すると、レンズキャップの変形および火災の原因となります。ご使用後はレンズをホコリや傷から守るためにレンズキャップをはめてください。

後面



- ① ランプカバーロックボタン
- ② ランプカバー
- ③ 傾き調整ハンドル
- ④ リモコン受信部-2
- ⑤ 排気口 * 3
- ⑥ キャリングハンドル
- ⑦ ロックレバー

底面



- ① 傾き調整脚
- ② 後部調整脚
- ③ エアフィルター
- ④ 吸気口 * 2

* 2



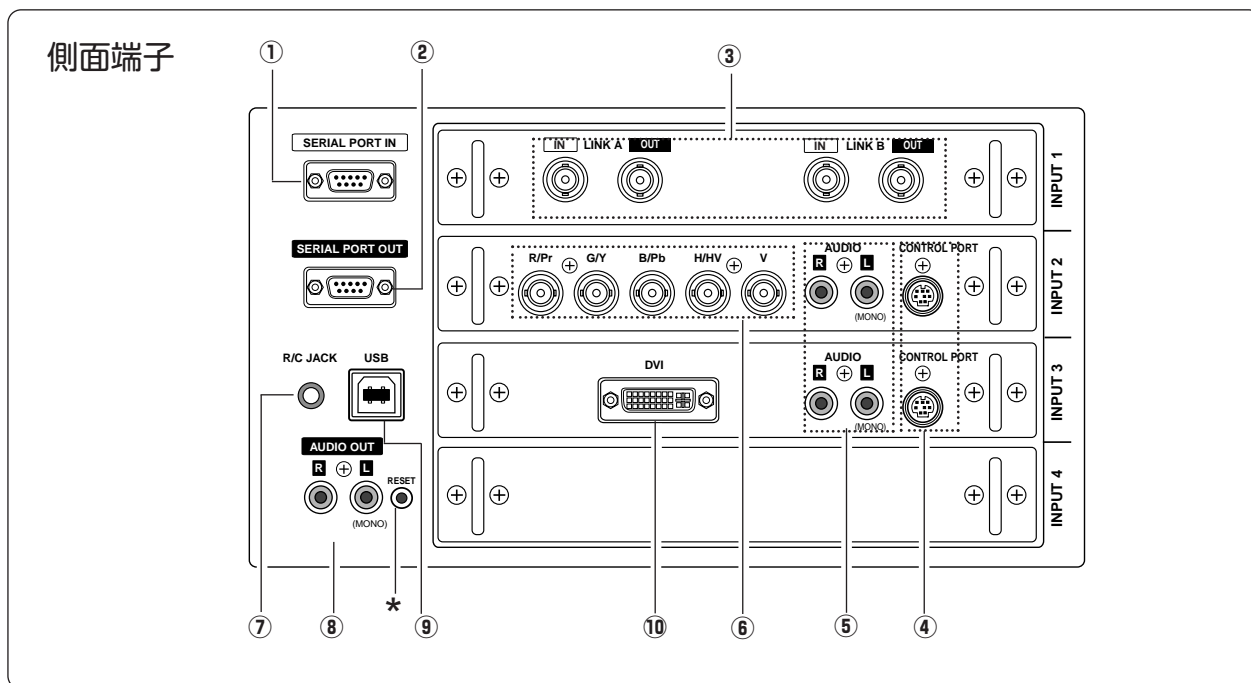
内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないようにください。

* 3



スプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすい物を近くに置かないでください。火災や火事の原因となります。

機器をつなぐ端子



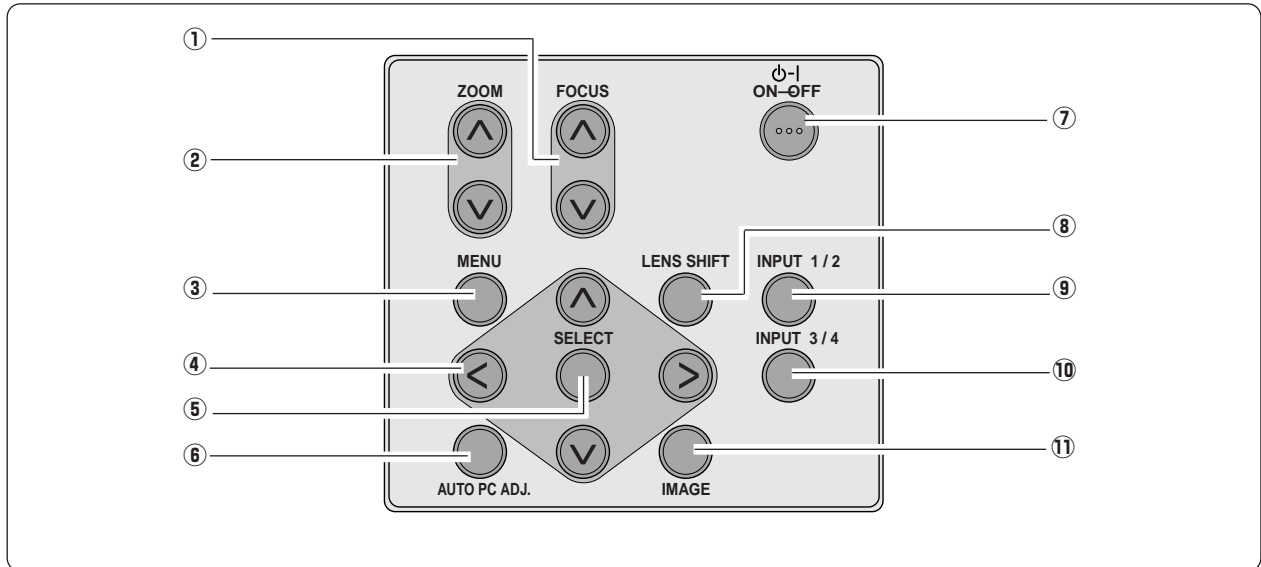
- ① シリアルポート入力端子
プロジェクターの操作をコンピュータで行なうときに使用します。この端子とコンピュータのシリアルポート（またはモデムポートなど）をつなぎます。
- ② シリアルポート出力端子
シリアルポート入力端子に入力されている信号をそのまま出力します。1台のコンピュータで2台以上のプロジェクターの操作をするとき、この端子と2台目以降のプロジェクターの SERIAL PORT IN 端子をつなぎます。
- ③ DUAL LINK SDI 入力1 / SDI入力2 / SDI出力1 / SDI出力2端子（21ページ参照）
業務用ビデオ再生機等のSDI出力機器からのHD-SDI信号及びSD-SDI信号を入力する端子です。（2系統）Dual-link SDIを含む。
SDI OUTは入力信号を出力します。
- ④ コントロールポート端子
この端子は本機では機能していません。
- ⑤ 音声入力端子（20、21ページ参照）
コンピュータやビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は「L (MONO)」端子へ接続してください。
- ⑥ ビデオ入力端子及びコンピュータアナログ入力端子（20、21ページ参照）
DVDプレーヤーやHDTVなどからのコンポーネント映像出力（Y、Pb、Pr）、または、コンピュータからのアナログ（RGB）出力を接続します。
- ⑦ リモートコントロール端子（15ページ参照）
この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を別売の接続コードでつなぐと、ワイヤードリモコンとなり、リモコンの向きに関係なくプロジェクターの操作ができます。
- ⑧ 音声出力端子（20、21ページ参照）
投映中のコンピュータまたはビデオ映像の音声を外部のオーディオ機器へ出力する端子です。選択した入力音声の音声出力します。
- ⑨ USB端子
サービス・メンテナンスで使用する端子です。
- ⑩ DVIデジタル/アナログ入力端子（20、21ページ参照）
DVI規格対応の端子を持つコンピュータからのデジタル（TMDS）出力またはアナログ（RGB）出力と接続します。接続にはDVI用コンピュータ接続ケーブル（別売）、または必要に応じてDVI/VGAコンピュータ接続ケーブル（別売）を使用します。DVIデジタルはHDCP*に対応しています。

* リセットボタン

本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行なわれていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく操作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の細い棒等で押して本機の再起動を行なってください。それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。

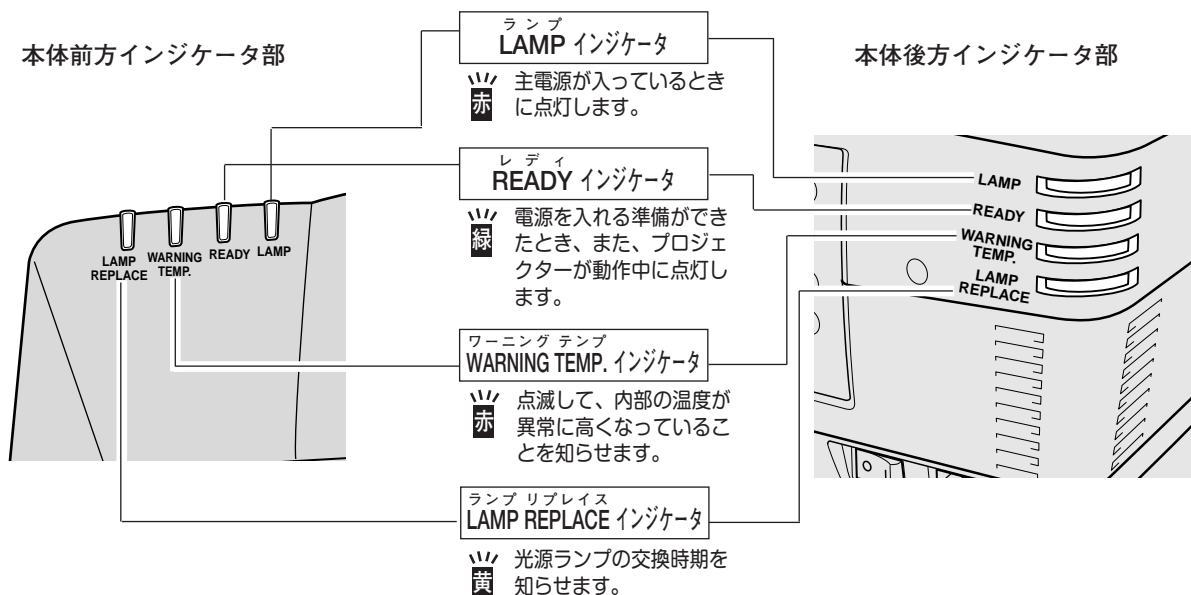
※HDCPとは、High-bandwidth Digital Contents Protectionの略称で、DVI を経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護用システムのことです。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本機のDVI入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生投映することができます。HDCPの規格変更等が行なわれた場合、これらHDCP技術でコピープロテクトされたデジタル映像のDVI端子での再生はできなくなる場合があります。

本体操作パネルのボタン

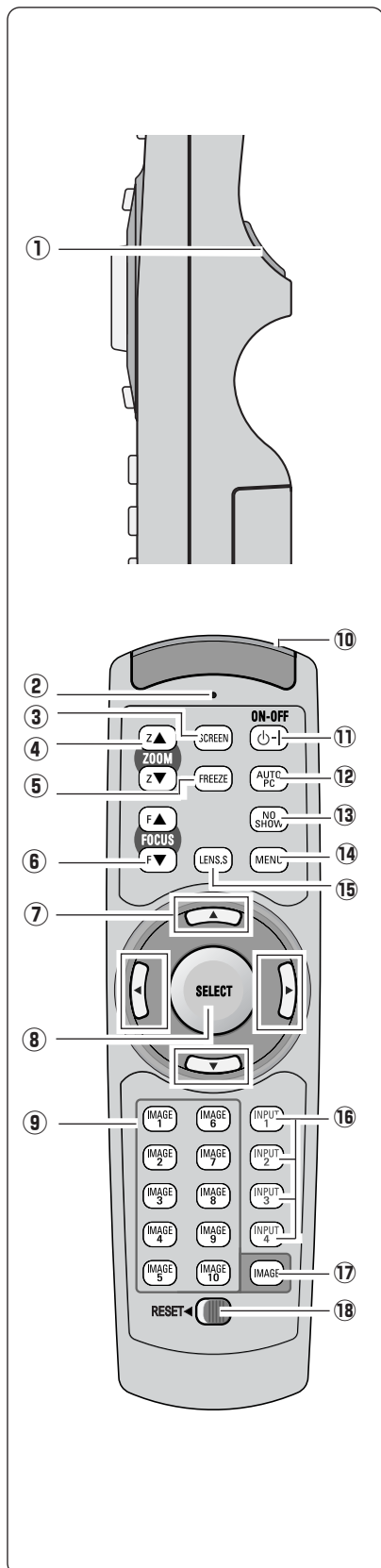


この操作パネルは、本機の側面にあります。

- ① フォーカス
FOCUS ボタン (27 ページ参照)
フォーカスを調整します。
- ② ズーム
ZOOM ボタン (27 ページ参照)
ズームを調整します。
- ③ メニュー
MENU ボタン (29 ページ参照)
メニューバーを出します。
- ④ ポイント
ポイント ボタン (29 ページ参照)
オンスクリーンメニューのポイントの移動や数値の変更に使用します。
- ⑤ セレクト
SELECT ボタン (29 ページ参照)
ポイントの指す項目を選択します。
- ⑥ オートピーシーアジャスト
AUTO PC ADJ. ボタン (36 ページ参照)
トラッキング・総ドット数・画面位置を自動調整します。
- ⑦ オン オフ
ON-OFF ボタン (23、24 ページ参照)
電源を入り・切りします。
- ⑧ レンズ シフト
LENS SHIFT ボタン (27 ページ参照)
レンズを上下左右にスライドさせて画面の位置を上下左右に移動させます。
- ⑨ インプット
INPUT 1/2 ボタン (31 ページ参照)
インプット (入力) 1・2を切換えます。
- ⑩ インプット
INPUT 3/4 ボタン (31 ページ参照)
インプット (入力) 3・4を切換えます。
- ⑪ イメージ
IMAGE ボタン (39 ページ参照)
イメージモードを選択します。



リモコンのボタン



- ① セレクト
SELECTボタン (29 ページ参照)
おもて面のSELECTボタン⑧と同一機能です。
- ② **信号発信インジケータ**
プロジェクターへ信号を送信しているときに赤く点灯します。
- ③ スクリーン
SCREENボタン (35 ページ参照)
スクリーンの切換をします。
- ④ ズーム
ZOOMボタン (27 ページ参照)
ズームを調整します。
- ⑤ フリーズ
FREEZEボタン (28 ページ参照)
画面を一時的に静止させます。
- ⑥ フォーカス
FOCUSボタン (27 ページ参照)
フォーカスの調整をします。
- ⑦ ポイント
POINTボタン (29 ページ参照)
オンスクリーンメニューのポインタの移動や数値の変更に使用します。
- ⑧ セレクト
SELECTボタン (29 ページ参照)
ポインタの指す項目を選択します。
- ⑨ イメージ
IMAGE 1-10ボタン (39 ページ参照)
イメージモード 1-10の切換ができます。
- ⑩ **ワイヤードリモコン端子** (13 ページ参照)
ワイヤードリモコンとして使用するときは、別売のリモコンコードでこの端子とプロジェクターのリモコン端子 (R/C JACK) を接続します。
※リモコンに電池は必要です。
- ⑪ オン オフ
ON-OFFボタン (23、24 ページ参照)
電源を入り・切りします。
- ⑫ オートピーシー
AUTO PCボタン (36 ページ参照)
トラッキング・総ドット数・画面位置を自動調整します。
- ⑬ ノーショー
NO SHOWボタン (28 ページ参照)
画面を一時的に消します。
- ⑭ メニュー
MENUボタン (29 ページ参照)
メニューバーを出します。
- ⑮ レンズシフト
LENS.Sボタン (27 ページ参照)
レンズ位置の調整をします。
- ⑯ インプット
INPUT 1-4ボタン (31 ページ参照)
インプット (入力) 1-4の切換ができます。
- ⑰ イメージ
IMAGEボタン (39 ページ参照)
イメージモードを選択します。
- ⑱ リセット
RESETスイッチ
リモコンコードを初期設定に戻すときは、「RESET」側に一度スライドさせます。

リモコンの準備

リモコンの準備

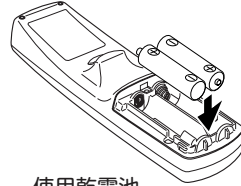
電池の入れかた

1 電池カバーを開けます。



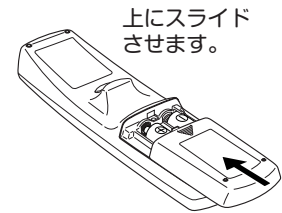
2 電池を入れます。

付属の乾電池をプラス、
マイナスに注意して入れます。



使用乾電池
単3形アルカリ乾電池2本

3 電池カバーを閉めます。



● 電池を使用するときのご注意 ●

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんで注意ください。

- ・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- ・乾電池は充電しない。分解しない。
- ・+極と-極の向きを正しく入れる。+極と-極をショートさせない。
- ・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- ・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。



注意

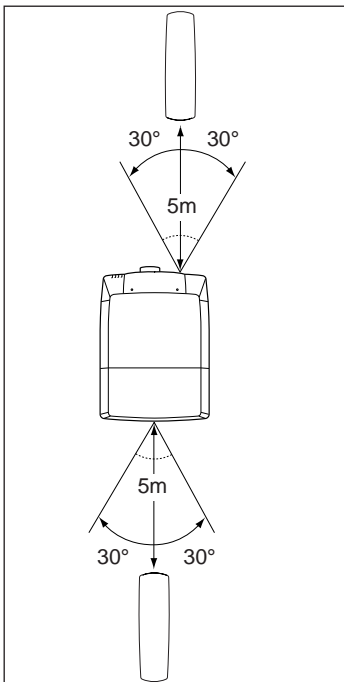


禁止

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- ・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- ・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

リモコンで操作できる範囲



ワイヤレスリモコンとして使用する場合、リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面と後面のリモコン受信部から約 5m 以内、上下左右 30° 以内です。

※間に障害物があると操作の妨げになります。

● リモコンを使用するときのご注意 ●

- ・本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。
- ・液状のものをかけない。
- ・落としたり衝撃を与えない。
- ・熱や湿気をさける。

リモコンコードの設定

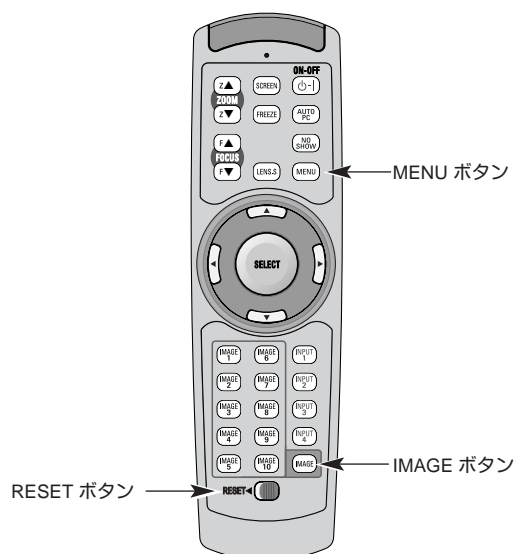
本機は 8種類のリモコンコード（「コード 1」～「コード 8」）に切り換えが可能です。複数のプロジェクターを使用するときリモコンコードを使い分けて使用することができます。リモコンコードを他のコード（「コード 2」～「コード 8」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換える必要があります。プロジェクターのリモコンコードを切り換えるにはセッティングメニュー内で行いません。（48ページ参照）

■リモコンコードの切り換え■

- 1 MENU ボタンを押します。
- 2 MENU ボタンを押したまま、IMAGE ボタンを押します。IMAGE ボタンを押す回数でコードが決まります。

※MENU ボタンをはなすと、コードが切り換わります。

| リモコンコード | イメージボタンを押す回数 |
|---------|--------------|
| コード 1 | 1 |
| コード 2 | 2 |
| コード 3 | 3 |
| コード 4 | 4 |
| コード 5 | 5 |
| コード 6 | 6 |
| コード 7 | 7 |
| コード 8 | 8 |



※設定したリモコンコードを初期化するときにはリモコン下方にあるスイッチを一度左側（リセット）へスライドさせます。リセットを行うと「コード1」に戻ります。工場出荷時は「コード 1」に設定されています。

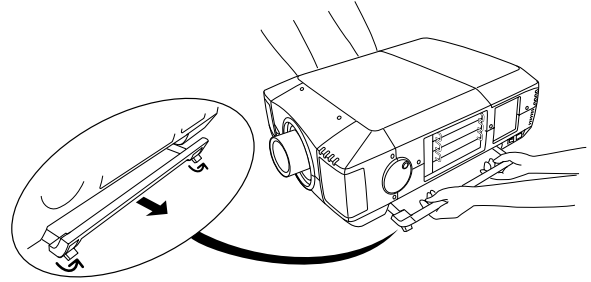
※電池をはずしても設定したリモコンコードはリセットされません。

設置のしかた

プロジェクターの持ち運びかた

- 1 キャリングハンドルの両端のロックレバーを引き上げるとロックが外れ、キャリングハンドルが少し出てきます。
- 2 両端のキャリングハンドルをカチッと音がするまでいっばいに引き出し、二人で両側からキャリングハンドルを持って運びます。

※ キャリングハンドルを収納するときは、両端のロックレバーを引き上げてロックを外してから収納します (カチッと音がするまで)。



● 持ち運ぶときのご注意 ●

安全のためプロジェクターの運搬や移動の際は、必ず二人で両側からキャリングハンドルを持って行なってください。落としたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



注意

レンズを取り付ける

プロジェクターを据え付ける前に、プロジェクター本体にレンズを取り付けます。

はじめにプロジェクターを使用する環境に合ったレンズを決めます。本機に適合するレンズ品番およびレンズの仕様は、別冊の説明書をごらんください。(別冊に記載されている各レンズの仕様は、目安とするもので実際のものとは異なる場合があります。レンズの仕様について、詳しくは取扱販売店にご相談ください。)

各レンズの取り付けは、別冊の「レンズ交換・取付作業手順書」に従って行なってください。レンズの品番によって取り付け手順、取り付け部品が異なります。必ず手順書に従い、レンズの品番に合った取付けを行なってください。

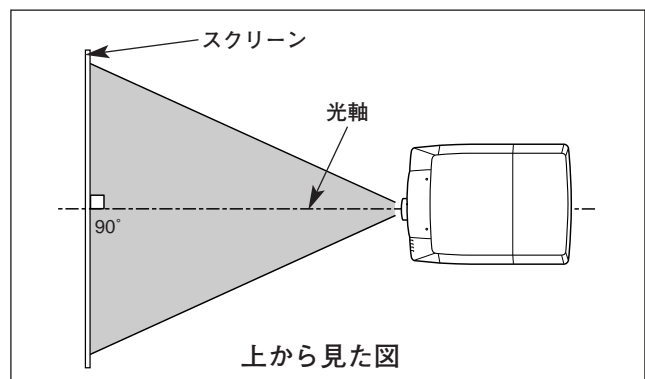


注意

レンズ取り付け後、プロジェクターを設置するとき、レンズには必ずレンズ保護キャップをしてください。また、プロジェクター本体を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部は絶対に持たないでください。プロジェクターを破損する原因になります。

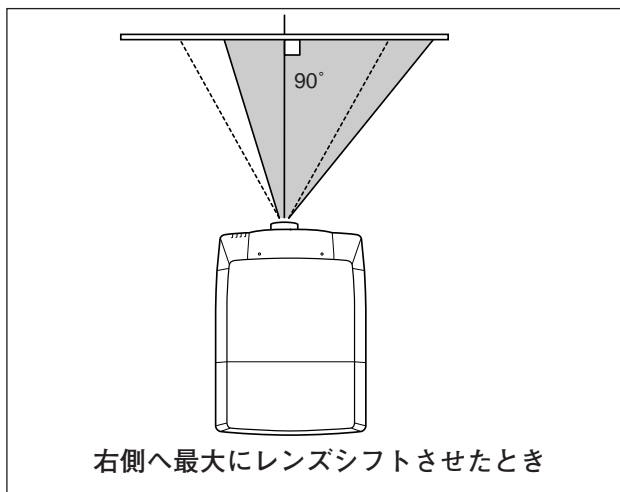
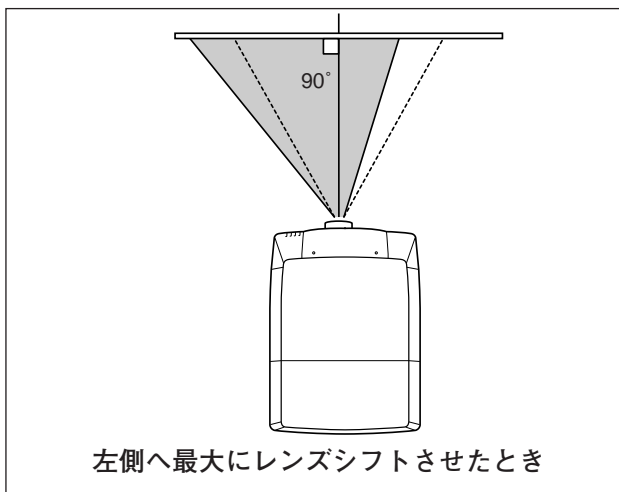
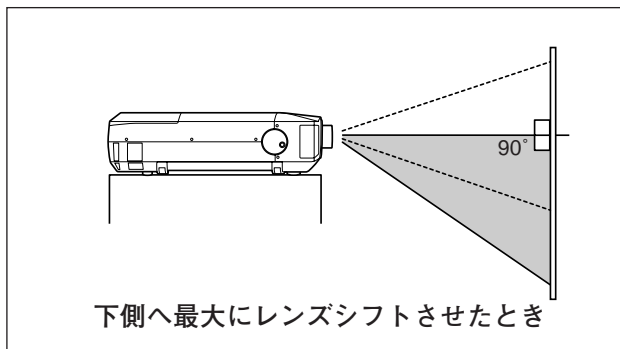
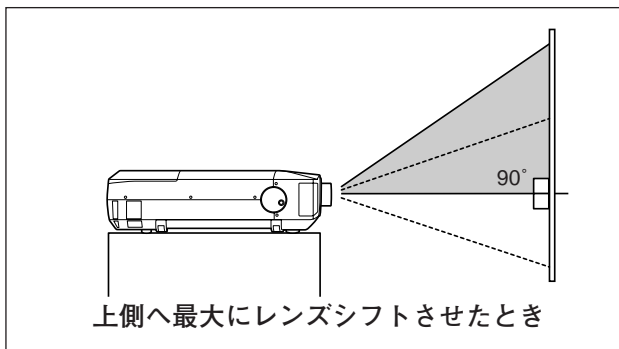
スクリーンに対して直角に設置する

投射したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。



レンズシフト機能で画面の位置を合わせる

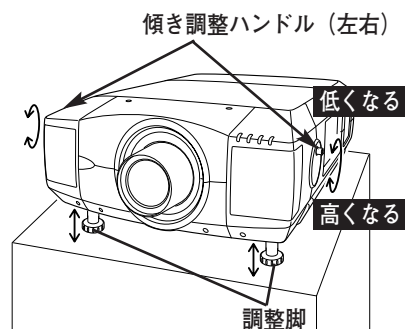
本機にはレンズシフト機能が付いており、ボタン操作でレンズを上下左右にスライドさせ、画面位置を上下左右に移動させることができます。操作のしかたについては、27ページをごらんください。



傾き調整ハンドルで画面の傾きを調整する

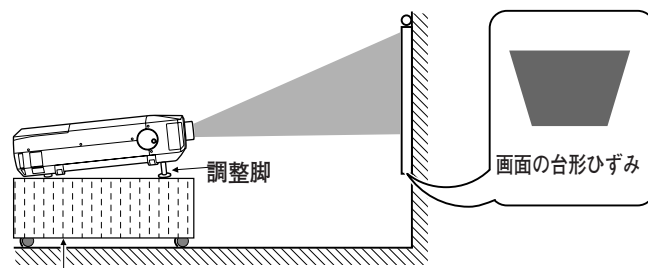
- 1 傾き調整ハンドルのつまみ部を押してつまみを出します。
- 2 つまみを持ってハンドルを回し、本体前方の調整脚を伸縮させて投映画面の左右の傾きを調整することができます。本体前方の調整脚（2つ）を伸ばすと最大約5.7度まで上ります。
- 3 本体後方の調整脚を回して本体左右のガタツキをなくします。

※ 画面の上下左右の位置は、基本的にレンズシフト機能で調整します。
(27ページ参照)



● 画面の台形ひずみ (あおり) ●

調整脚を上げすぎると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さを調整してください。



設置台

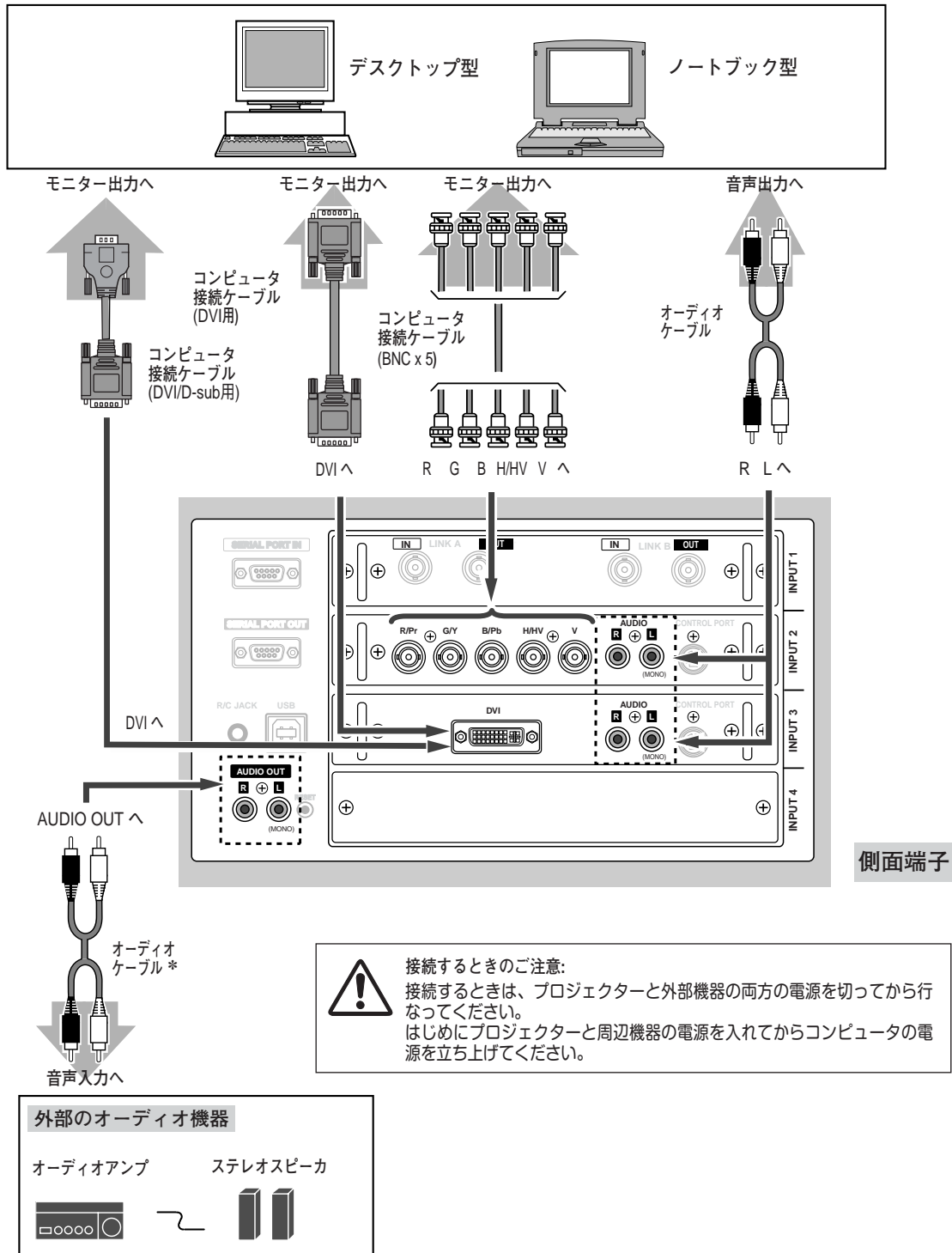
※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

コンピュータを接続する (例)

本機には外部機器と接続するケーブルは付属されておりません。接続には市販のケーブルをお使いください。

コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

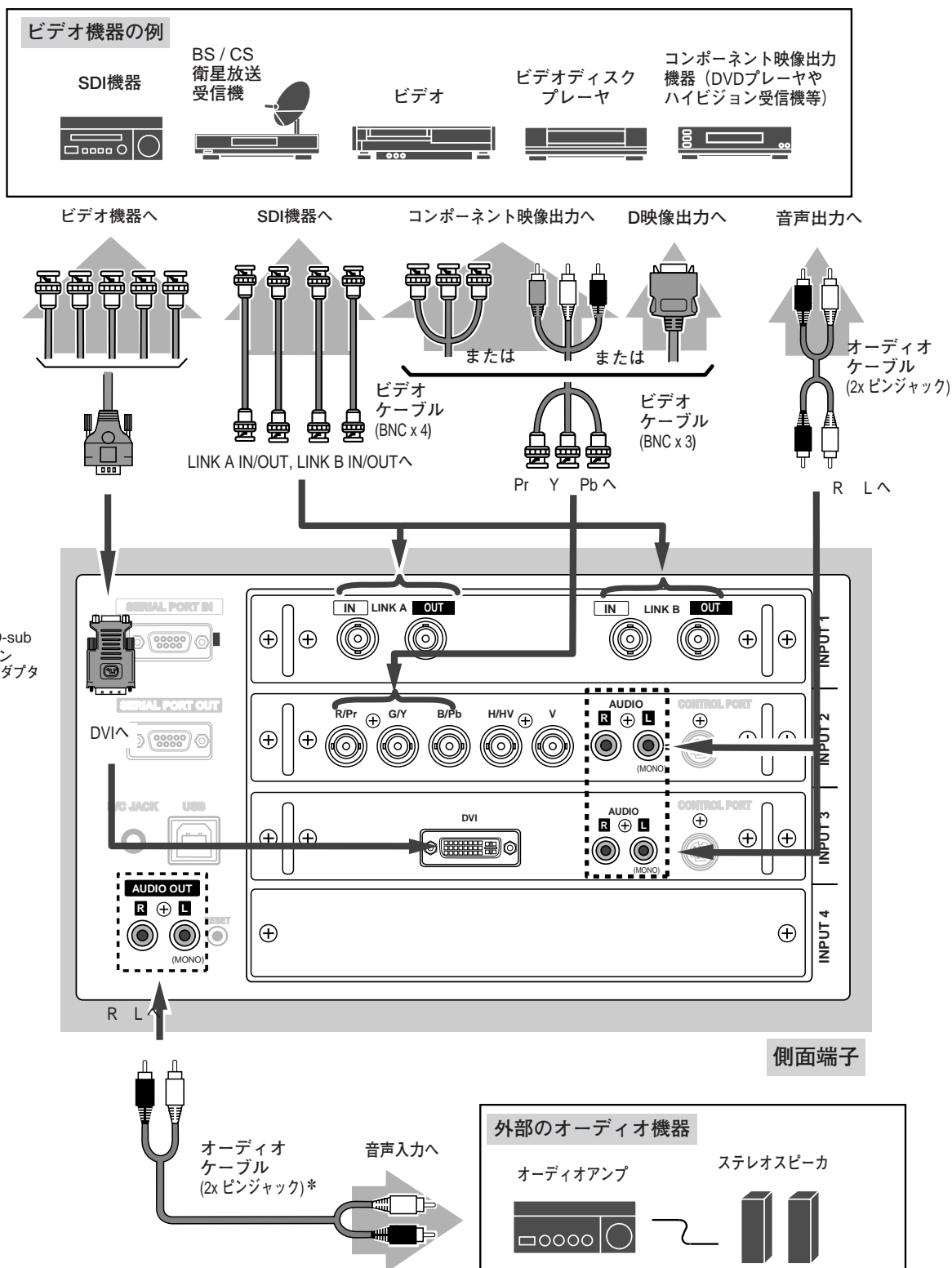
※ ノートブック型は、キーボードの [Fn] キーを押しながら、ファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。



ビデオ機器を接続する (例)

本機には外部機器と接続するケーブルは付属されておりません。接続には市販のケーブルをお使いください。

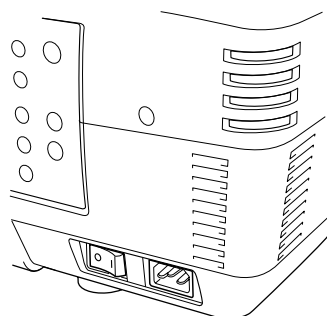
接続するときのご注意:
 接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。



電源コードを接続する

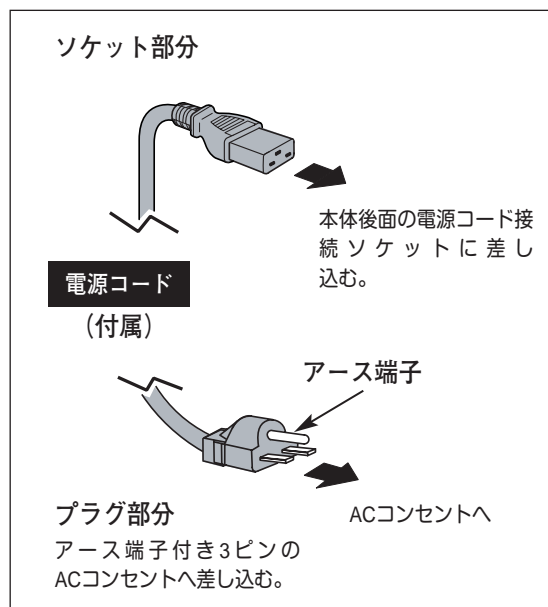
電源コードをつなぐ前に、20～21ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードのソケット部分を本体後面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



電源コード
接続ソケットへ

- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3ピンのACコンセントに差し込みます。



注 意

⚠ 電源コード取扱上の注意

電源コードはかならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものを絶対にご使用にならないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

⚠ ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

本機は、操作パネルやリモコンの [ON-OFF] ボタンで電源を切っても約20Wの電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグをACコンセントから抜いてください。

⚠ アース端子を接地してください

機器を安全にご使用いただくために、電源プラグのアース端子は確実に接地してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

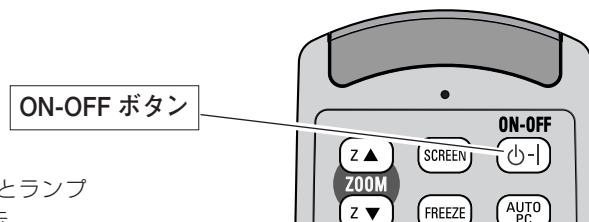
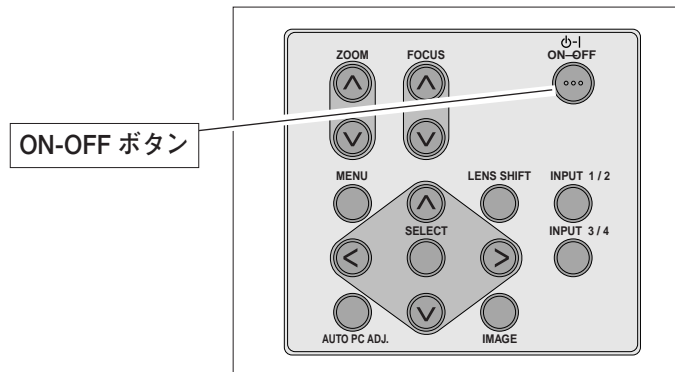
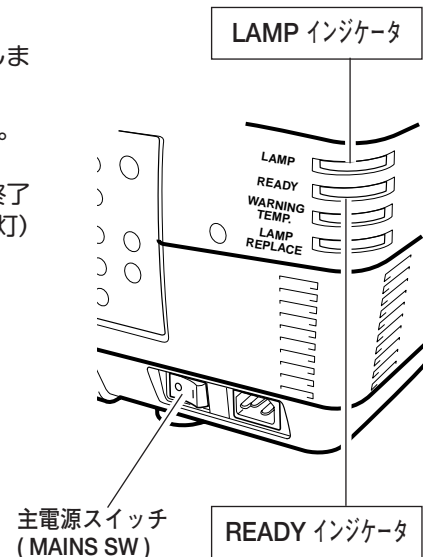
電源を入れる

電源を入れる

- 1 側面の主電源スイッチ (MAINS SW) を「ON」(入) します。
赤色の LAMP インジケータと緑色の READY インジケータが点灯します。
- 2 リモコンまたは操作パネルの ON-OFF ボタンを押して電源を入れます。
LAMP インジケータが少し暗めの点灯にかかります。
約30秒間のオープニング画面 (ブランドロゴとカウントダウン表示) 終了後、画面の左上にインプット表示、入力信号、ランプモード (4 灯・2 灯) が約4秒間表示され、画像の投射が始まります。

* セッティングメニューで「オンスタート・オン」に設定しているときは、電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

- * セッティングメニューで、
- ・「オンスクリーン表示・オン」、「ロゴ・オフ」に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面およびインプット表示、入力信号、ランプモード (4 灯・2 灯) は出ません。
 - ・「オンスクリーン表示・オフ」に設定しているときは、「ロゴ」の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投射されます。



● 電源を切った後、約90秒間は電源が入りません ●

電源を切った後、約90秒間は、次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間は ON-OFF ボタンを押しても電源は入りません。またこの間は電源コードを抜かないで下さい。90秒経ち、緑色の READY インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

電源を切る

- 1 リモコンまたは操作パネルの ON-OFF ボタンを押すと、画面に「もう1度押すと電源が切れます」の表示が出ます。
- 2 表示が出ている間に再度 ON-OFF ボタンを押すと画面が消え、電源が切れます。
電源が切れると緑色の READY インジケータが消え、赤色の LAMP インジケータが明るく点灯します。



※表示は約4秒間出ます。

● 電源を切った後、約90秒間は電源が入りません ●

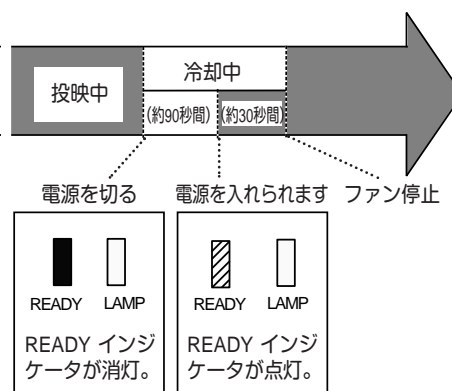
電源を切った後は次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間はON-OFF ボタンを押しても電源は入りません。約90秒経ち、緑色の READY インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。READY インジケータが点灯後、さらに約30秒間冷却してファンが停止します。

● 光源ランプを長持ちさせるために ●

光源のランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源プラグを抜くときは、ON-OFF ボタンで電源を切り、約90秒経過後、緑色の READY インジケータが点灯してから行なってください。電源が入った状態からいきなり主電源を切ったり、電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

● 冷却ファンについて ●

電源が入っている間、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。



プロジェクターを24時間以上連続して使用する場合は、24時間に1度電源を切り、1時間休ませてください。
休ませることによりランプをより長くご使用いただけます。

パワーマネジメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネジメント機能が搭載されています。30秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。
工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。

パワーマネジメントの動作について（動作の設定は47ページ参照）

設定が「待機」のとき

- 1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ランプ冷却中は LAMP インジケータが暗く点灯し、プロジェクターの操作はできません。
- 2) ランプの冷却が完了すると READY インジケータが点滅を始め、パワーマネジメントモードになっていることを知らせます。この状態のときに、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投影されます。

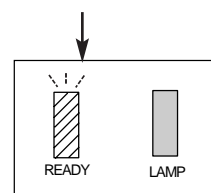
設定が「シャットダウン」のとき

- 1) タイマーのカウントダウンが完了すると ランプが消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ランプ冷却中は LAMP インジケータが暗く点灯し、プロジェクターの操作はできません。
- 2) ランプの冷却が完了すると、電源が切れます。



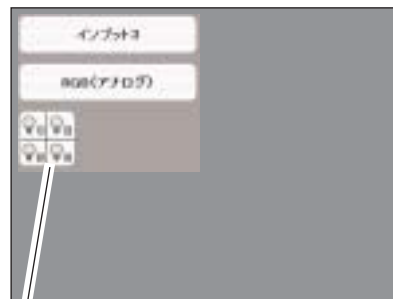
タイマー表示

パワーマネジメントモードになると、READY インジケータが点滅を始めます。



ランプマネージメントについて

本機は4個のランプを搭載しています。ランプマネージメントはこれらのランプの点灯状況を監視し、ランプを最良の点灯状態になるよう自動的にコントロールし、ランプの点灯状態を画面のランプステータス表示と、プロジェクター本体の LAMP REPLACE インジケータ（14 ページ参照）で表示します。



ランプステータス表示

ランプステータス表示

インプット（入力）を切り換えたときに、画面左上に4個のランプ表示が約5秒間出ます。このランプ表示は、ランプの点灯状況を示しています。（下記注）参照）表示の番号は内部に装着されている各ランプの番号を示しています。各ランプの状況で以下のように表示されます。



ランプが全て黄色で表示されている

4個のランプが正常に点灯しています。



ランプが暗く表示されている

暗く表示されている番号のランプが点灯していません。ランプモードが 2灯点灯のときに点灯していないランプが暗く表示されます。（46 ページ参照）
（ランプの寿命切れ、故障ではありません。）



ランプにXマークが付き暗く表示されている

Xマークのランプが寿命または故障などで点灯していません。一旦電源を切り、しばらくしてから電源を入れなおしてください。電源を入れなおしてもXマークが表示される場合は、ランプの交換が必要です。

（交換のしかたは 51 ページ参照）

※LAMP REPLACE インジケータが点滅します。（次ページ参照）



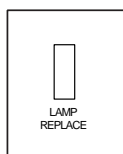
ランプの何れかが赤く表示されている

工場で設定した目安のランプ寿命時間になっています。早めにランプ交換することをおすすめします。（交換のしかたは 51 ページ参照）

※LAMP REPLACE インジケータが点灯します。（次ページ参照）

注) 全てのランプの点灯状態が安定するまでに約3分かかります。したがって、オープニング画面終了時に表示されるランプモード表示は実際と異なる場合があります。ランプ点灯状態を正しく確認するには、電源投入時から3分以上経過後に INPUT ボタンを押すか、セッティングメニューのランプモードでご確認ください。

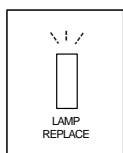
LAMP REPLACE インジケータ



4個のランプの何れかがランプ寿命に近づくと、LAMP REPLACE インジケータが点灯します。

LAMP REPLACE インジケータが点灯している

このインジケータが点灯すると、4個のランプの何れかにランプ寿命が近づいているものがあります。該当するランプは、画面のステータス表示でご確認ください。



4個のランプの何れかが故障または寿命により不点灯になると、LAMP REPLACE インジケータが点滅します。

LAMP REPLACE インジケータが点滅している

このインジケータが点滅しているときは、4個のランプの何れかが寿命または故障により点灯していません。ステータス表示で該当ランプをご確認のうえ、ランプ交換を行なってください。
(51 ページ参照)

自動ランプ点灯モード切り換え

プロジェクターが最良の点灯状態となるように、ランプマネージメントはランプの点灯状態を検知し、ランプの点灯モードを自動的に切り換えます。



4個のランプの1灯が寿命または故障で不点灯になると、自動的に点灯モードが2灯点灯になります。

2灯点灯モード

4個のランプのうち1灯のみが寿命または故障で不点灯になると、不点灯(ステータス表示で Xマーク付き) のランプを含まない対角 2個のランプによる 2灯点灯に切り換わります。



4個のランプの対角でない2灯が寿命または故障で不点灯になると、自動的に点灯モードが1灯点灯になります。

1灯点灯モード

4個のランプのうち2灯が不点灯になると、1灯のみの点灯に切り換わります。但し、不点灯(ステータス表示で Xマーク付き) の 2個のランプが対角の場合、残りの対角の 2個のランプによる 2灯点灯に切り換わりません。

※4個のランプの3灯が不点灯になると、消灯します。

※4個のランプが正常に点灯している場合でも、ランプ点灯モードを 4灯点灯または 2灯点灯へ手動で切り換えることができます。(46ページ参照)

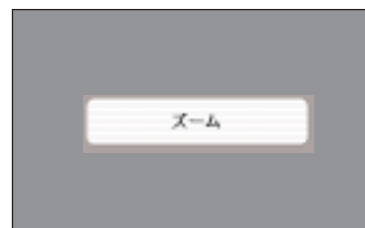
※4個のランプが正常で 2灯点灯させた場合、4個のランプで積算点灯時間が短い方のランプを含む対角を自動検出し、その対角の2灯のランプを優先して点灯させます。

投映画面を調整する

画面の大きさを決める

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

ZOOM ボタン 上方向・・・画面が大きくなります。
ZOOM ボタン 下方向・・・画面が小さくなります。

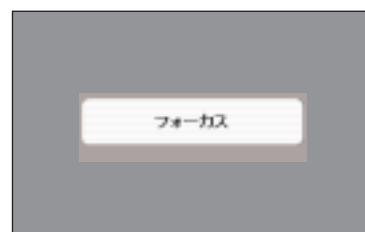


※表示は約4秒間出ます。

フォーカスを合わせる

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

FOCUS ボタンの上下方向で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。



※表示は約4秒間出ます。

レンズシフト機能で画面の位置を上下左右に動かす

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

- LENS SHIFT ボタンを押してレンズシフト調整モードに入ります。
画面に「レンズシフト」表示が現れます。
- 表示が出ている間にポイントボタンの上下左右方向で、画面の位置を上下左右に動かします。
移動中に上下方向または左右方向の矢印が赤色に変わる位置があります。その位置がレンズの上下方向または左右方向の標準位置です。

※表示は約4秒間出ます。

※レンズシフト機能で調整した内容は、主電源を切っても記憶されています。

※画面位置の移動範囲について詳しくは、別冊の「レンズ交換・取付作業手順書」を参照ください。

※画面位置を動かしたときは、多少画面が暗くなることがあります。



※表示は約4秒間出ます。

画面を一時的に静止させる (FREEZE)

リモコンの FREEZE ボタンを押すと、再生機器に関係なく投映画面だけが静止します。もう一度 FREEZE ボタンを押すと、解除されます。また、FREEZE機能作動中に他のボタンを押すと、そのボタンの機能が働き、FREEZEは自動解除されます。

※ FREEZE ボタンは操作パネルにはありません。

● こんなときに便利です ●

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には FREEZE ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

画面を一時的に消す (NO SHOW)

リモコンの NO SHOW ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投映画面を一時的に消すことができます。もう一度 NO SHOW ボタンを押すと、解除されます。また、NO SHOW 機能作動中に他のボタンを押すと、そのボタンの機能が働き、NO SHOW は自動解除されます。

※ NO SHOW ボタンは本体操作パネルにはありません。



※表示は約4秒間出ます。

● こんなときに便利です ●

プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

メニューの操作

オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

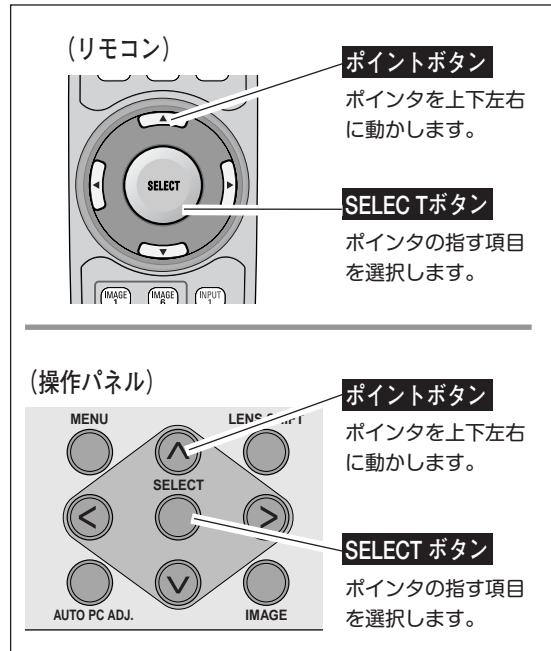
オンスクリーンメニュー(画面上のメニュー)の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

①ポインタの動かし方

ポインタは、ポイントボタンで上下左右に動かします。ポイントボタンはリモコンと操作パネルにあります。

②項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコンを選択するには、SELECTボタンを押します。SELECTボタンはリモコンと操作パネルにあります。



操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

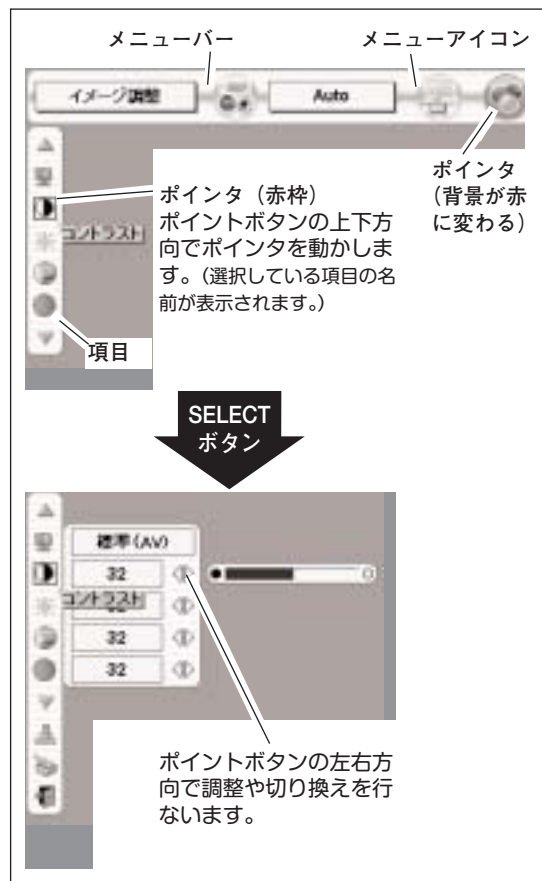
- 1 MENU ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。(次ページ参照) メニューバーには選択できるメニューがアイコン(操作をイメージした図)の形で一覧表示されます。
アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

- 2 ポイントボタンの左右でメニューを選択します。選択されたメニューバー上のアイコンは背景が赤に変わります。

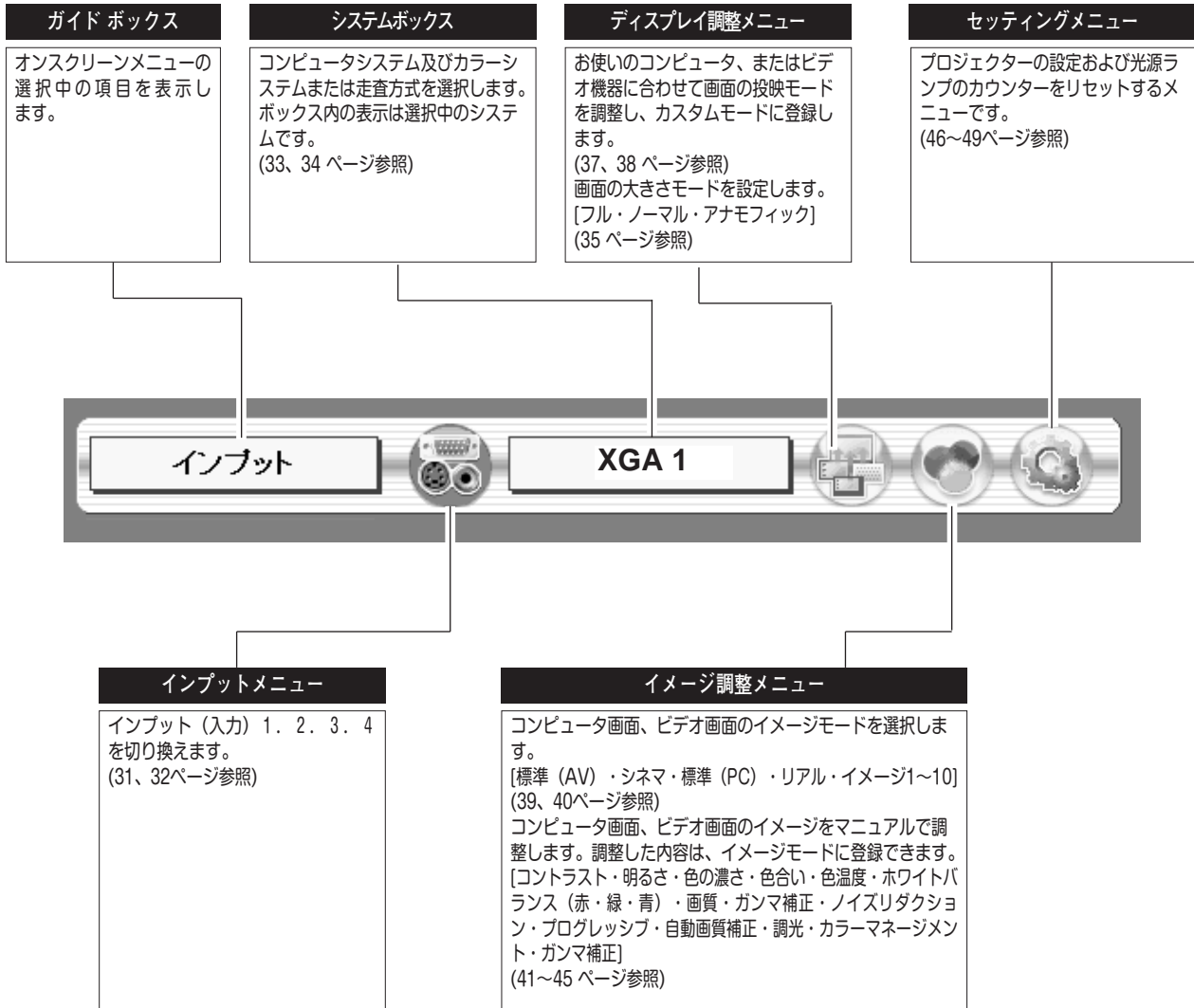
メニュー画面で調整や切り換えを行なう

- 3 ポイントボタンの下でポインタをメニュー内に降ろし、調整する項目にポインタを合わせます。
- 4 SELECT ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。
- 5 ポイントボタンの左右で、調整や切り換えを行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項目を参照してください。



メニューバー

メニューバー



入力信号・システムの選択

入力を切り換える

ダイレクトボタンで入力を切り換える

リモコンの INPUT 1、2、3、4 ボタン、または本体操作パネルの INPUT1/2、INPUT3/4ボタンを押して、入力を選択します。接続端子が装着されていない入力は選択できません。

INPUT ボタン

インプット 1

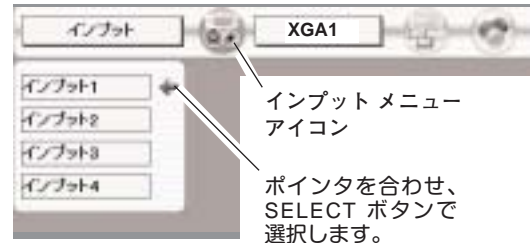
画面に選択した入力が表示されます。

※表示は約4秒間出ます。

インプットメニューで入力を切り換える

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをインプットメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下で、信号が入力されている端子にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。
信号形式選択メニューが現れます。
- 3 ポインタを希望する信号形式に合わせ、SELECT ボタンで選んで下さい。

インプットメニュー



インプット 1

LINK-A (YCbCr) ビデオ機器からの信号がSingle-Link (YCbCr/4:2:2/10 bitフォーマット)でLINK-A INに接続されている時。

LINK-B (YCbCr) ビデオ機器からの信号がSingle-Link (YCbCr/4:2:2/10 bitフォーマット)でLINK-B INに接続されている時。

Dual (YCbCr1) ビデオ機器からの信号がDual-Link (YCbCr/4:2:2/10 bitフォーマット)でLINK-A INおよびLINK-Bに接続されている時。

Dual (YCbCr2) ビデオ機器からの信号がDual-Link (YCbCr/4:2:2/12 bitフォーマット)でLINK-A INおよびLINK-Bに接続されている時。

Dual (YCbCr3) ビデオ機器からの信号がDual-Link (YCbCr/4:4:4/10 bitフォーマット)でLINK-A INおよびLINK-Bに接続されている時。

Dual (YCbCr4) ビデオ機器からの信号がDual-Link (YCbCr/4:4:4/12 bitフォーマット)でLINK-A INおよびLINK-Bに接続されている時。

Dual (RGB 1) ビデオ機器からの信号がDual-Link (RGB/4:4:4/10 bitフォーマット)でLINK-A INおよびLINK-Bに接続されている時。

Dual (RGB 2) ビデオ機器からの信号がDual-Link (RGB/4:4:4/12 bitフォーマット)でLINK-A INおよびLINK-Bに接続されている時。

インプット 2

RGB

コンピュータのアナログ信号がINPUT 2 (BNC端子 : R, G, B, H, V)に接続されているときに選択します。

YCbCr

コンポーネントビデオ信号がINPUT 2の (BNC端子 : Y, Pb/Cb, Pr/Cr) 端子に接続されているときに選択します。



インプット 3

RGB(アナログ) INPUT 3のANALOG IN端子に、コンピュータのアナログ信号が接続されているとき選択します。

RGB (Scart) INPUT 3のANALOG IN端子に、映像機器のSCART映像出力*がSCART-VGAケーブルで接続されているとき選択します。

RGB(PCデジタル) INPUT 3のDIGITAL(DVI-D)端子に、コンピュータのデジタル信号が接続されているとき選択します。

RGB (AV HDCP) HDCP対応のデジタル映像信号がINPUT 3のDIGITAL(DVI-D)端子に接続されているとき選択します。

(13、20、※59ページ参照)

※RGB (SCART) は、DVI端子にSCART 21ピン*ビデオ信号が入力されている場合に選択します。

※SCART 21ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子のRGB出力をプロジェクターで見るには、ビデオ機器のSCART 21ピン端子とプロジェクターのDVI端子を専用のケーブルで接続します。DVI端子で再生されるRGB SCART信号は、480i、575iのRGB信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

インプット3



※各入力の信号選択メニューは装着されている端子に合わせて表示されます。ここに表示されているものは本機にあらかじめ装着されている入力端子のものです。

システムを選択する

システムモードが自動選択されます

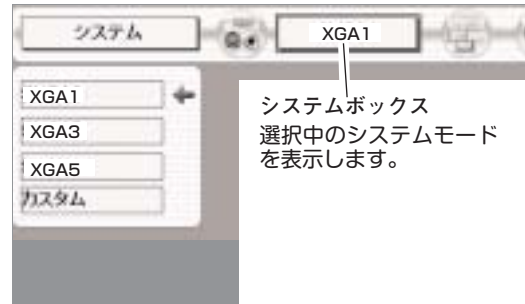
◆入力選択でコンピュータ信号を選択している場合◆

(マルチ スキャン システム)

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード (XGA、SXGA、SXGA+、WXGA、UXGA・・・) を自動で選択しますので、ふだん特別な操作をせずにコンピュータ画面を投映することができます。(57～58 ページ参照)
 選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。

※ システムボックスに、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムメニュー



● システムボックスに表示されるメッセージ ●

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動PC調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投映されないときは、お使いのコンピュータに合わせマニュアルでディスプレイ調整を行い、カスタムモードに登録してください。

(37～38 ページ参照)

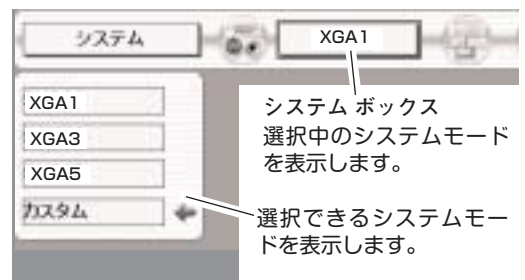
コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。(20 ページ参照)

システムモードをマニュアルで選択するとき

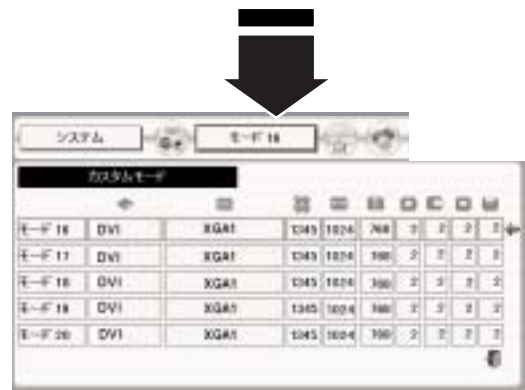
カスタムモード*を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタを選択するモードに合わせ、SELECT ボタンを押します。

システムメニュー



※カスタムモード：お使いのコンピュータまたはビデオ機器に合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。「カスタム」を選択するとディスプレイ調整メニューで登録したカスタムモード (1～20) より入力信号に適応したモードのみを表示します。(37、38ページ参照)



走査方式を選択する

◆入力選択でビデオ機器からの入力を選択している場合◆

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポイントをシステムボックスに合わせます。
- 2 ポインタを希望する走査方式に合わせ、SELECT ボタンで選んでください。

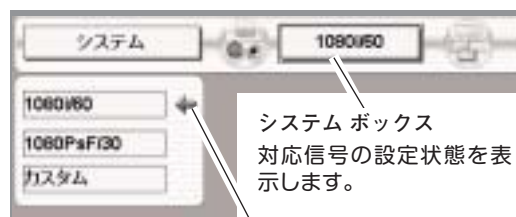
Dual-Link SDI 端子入力選択時

入力信号

{(480i, 575i, 480p, 575p, 720p, 1035i, 1080i/50, 1080i/60, 1080p/60, 1080p/50, 1080p/30, 1080p/25, 1080p/24, 1080psf/30, 1080psf/25, 1080psf/24, 1080p/24)の入力信号にプロジェクターが自動で対応します。

※ 1080i/60または、1080psf/30 の信号を入力しているときは非対応です。ポインタを合わせ、SELECT ボタンを押して選んでください。

システムメニュー(SDI入力時)



システムボックス
対応信号の設定状態を
表示します。

ポインタを対応する信号
に合わせ、SELECT ボタン
を押します。

Y, Pb/Cb, Pr/Cr 端子入力選択時

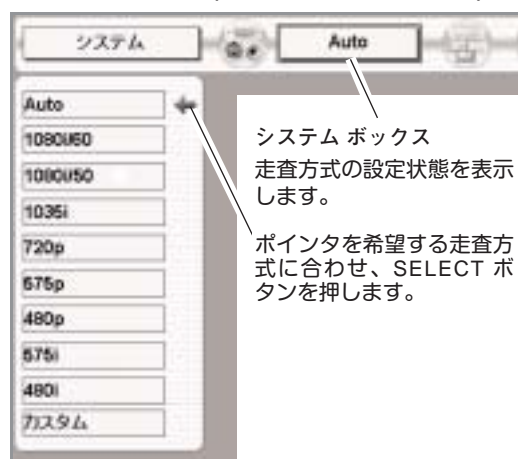
Auto (自動)

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、1080i/60、1080i/50、1035i、720p、575p、480p、575i、480iの中から正しい走査方式を選んでください。

システムメニュー (コンポーネント映像入力時)



システムボックス
走査方式の設定状態を
表示します。

ポインタを希望する走査方式
に合わせ、SELECT ボタン
を押します。



ディスプレイ調整

画面の投映モードを選択する

画面のサイズや水平・垂直位置及び水平・垂直スケールを手動で調整することができます。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポイントをスクリーンメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン上下でポイントを選択したい機能のアイコンに合わせ、SELECT ボタンで選択します。選んだ項目の設定画面が現れます。

スクリーン

フル・・・フルスクリーンサイズで投映します。

ノーマル・・・画像をオリジナルサイズで投映します。

アナモフィック・この機能を「オン」にすると入力信号が 17:9 の画面を、強制的に 4:3 の画面で投映します。

※リモコンのSCREENボタンでもフル、ノーマル、アナモフィックと切り換わります。

アスペクトH

水平のスケールおよび位置を調整します。SELECT ボタンを押すと、アスペクトH 調整モードに入ります。

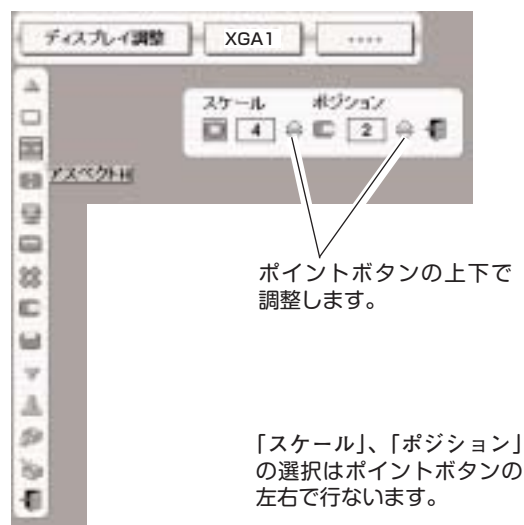
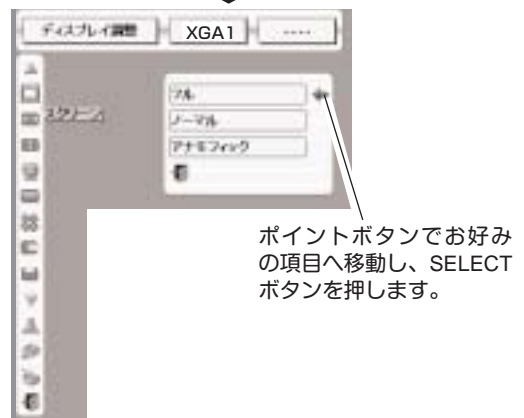
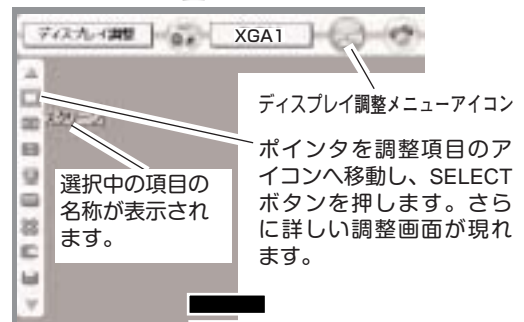
左右キーでポイントボタンを移動し、スケール、ポジションの調整したい方を選択し、上下キーで数値を調整します。

アスペクトV

垂直のスケールおよび位置を調整します。SELECT ボタンを押すと、アスペクトV 調整モードに入ります。

左右キーでポイントボタンを移動し、スケール、ポジションの調整したい方を選択し、上下キーで数値を調整します。

ディスプレイ調整メニュー



自動PC調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の4項目を自動調整することができます。



自動PC調整

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタを「ディスプレイ調整メニュー」のアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタを「自動PC調整」のアイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すとディスプレイ調整画面が出ますので、SELECT ボタンをもう一度押して自動調整してください。
自動PC調整機能は、リモコンまたは操作パネルの AUTO PC ADJ. ボタンでもはたります。

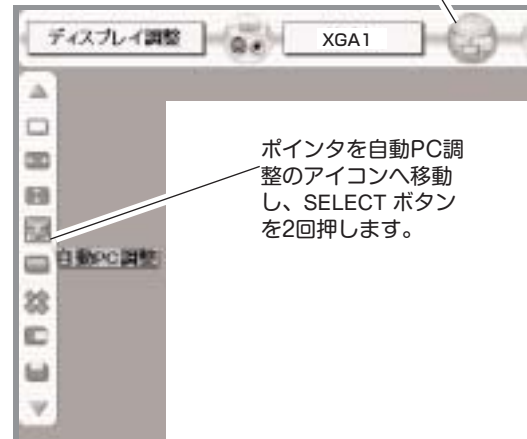
※自動PC調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」を完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。(37、38ページ参照)

自動調整した内容を一度登録しておく、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、38ページのディスプレイ調整の手順3をごらんください。

※コンピュータからの入力信号がデジタルの場合や、システムメニューで 480p、575p、480i、575i、720p、1035i、1080i/60、1080i/50 のシステムモードが選択されているときは、自動PC調整機能ははたしません。

ディスプレイ調整メニュー

ディスプレイ調整メニューアイコン



ポインタを自動PC調整のアイコンへ移動し、SELECT ボタンを2回押します。

マニュアル調整（カスタムモードを登録する）

本機は、接続されたコンピュータまたはビデオ機器等の信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、自動選択できないものもあります。画像が正しく投映されないときは、ディスプレイ調整メニューでマニュアル調整し、カスタムモードを登録します。登録したカスタムモードは、システムメニューで選択できます。カスタムモードはモード1～20まで（計20モード）登録することができます。

※入力信号によって調整できないメニューは表示されません。

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをディスプレイ調整メニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして調整したい項目のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。

選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右方向で行ないます。

※画面領域 H と V は、ポイントボタンで調整後 SELECT ボタンを押して調整値を決定する必要があります。

トラッキング

トラッキング（同期）がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。（0から31まで）

※コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

画面領域 H

水平解像度を調整します。ポイントボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

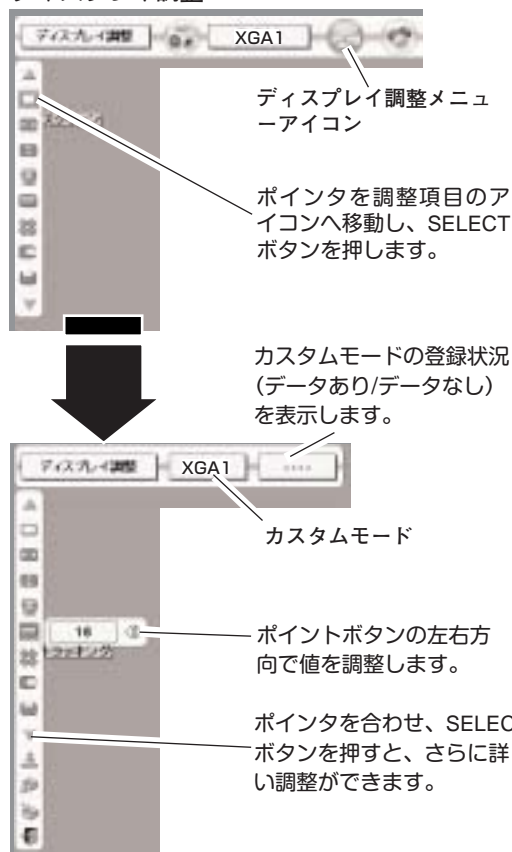
※画面領域 H は、ポイントボタンで調整後 SELECT ボタンを押して調整値を決定する必要があります。

画面領域 V

垂直解像度を調整します。ポイントボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※画面領域 V は、ポイントボタンで調整後 SELECT ボタンを押して調整値を決定する必要があります。

ディスプレイ調整メニュー



ディスプレイ調整メニューアイコン

ポインタを調整項目のアイコンへ移動し、SELECT ボタンを押します。

カスタムモードの登録状況（データあり/データなし）を表示します。

カスタムモード

ポイントボタンの左右方向で値を調整します。

ポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと、さらに詳しい調整ができます。

画面の調整



信号情報

現在接続しているコンピュータまたは、ビデオ機器の水平周波数と垂直周波数の値を表示します。



クランプ

クランプの位置を調整します。画面左右の黒ブランクの位置を調整します。

3



メモリー

調整した内容をカスタムモードに登録します。ポインタをメモリーアイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すと、ディスプレイ調整データ登録メニューが現われます。登録したいモード (モード 1 ~ 20 ※までのいずれか) にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。

※ビデオモード、コンピュータモード (デジタル) は 1 ~ 15 へ、コンピュータモード (アナログ) は 16 ~ 20 のモードへそれぞれ登録出来ます。登録モードは 5 個ずつ表示されます。



データ消去

ポインタをデータ消去アイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すと、ディスプレイ調整データ消去メニューが現われます。消去したいモードにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。



リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の状態に戻ります。

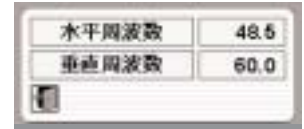


戻る

メニューを終了します。

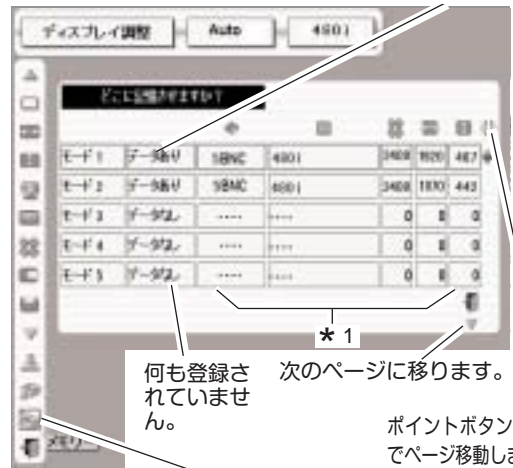


信号情報



ポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと、現在接続中の機器の信号を表示します。

ディスプレイ調整データ登録メニュー 既にカスタムモードが登録されています。



何も登録されていません。

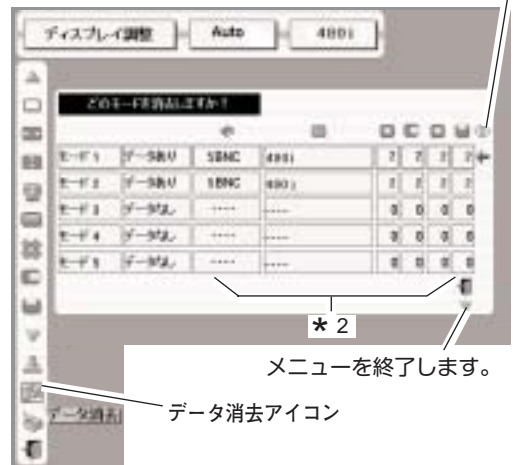
* 1 次のページに移ります。

ポイントボタンの左右方向でページ移動します。

メモリーアイコン

* 1 接続端子、システム、総ドット数、画面領域 H、画面領域 V を表示します。

ディスプレイ調整データ消去メニュー



* 2 メニューを終了します。

データ消去アイコン

* 2 接続端子、システム、画面領域 H、水平位置、画面領域 V、垂直位置を表示します。

イメージの調整

IMAGEボタンでイメージモードを選択する

本体操作パネルの IMAGEボタンを押すごとに、イメージモードが「標準 (AV)」「シネマ」「標準 (PC)」「リアル」「イメージ 1 - 10」と切り換わります。

リモコンの IMAGEボタンを押すごとに、イメージモードが「標準 (AV)」「シネマ」「標準 (PC)」「リアル」と切り換わります。
リモコンでイメージ 1 - 10 を選択する場合は イメージ 1 - 10 ボタンでダイレクト選択して下さい。

標準 (AV)

「コントラスト」「明るさ」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質になります。

標準 (PC)

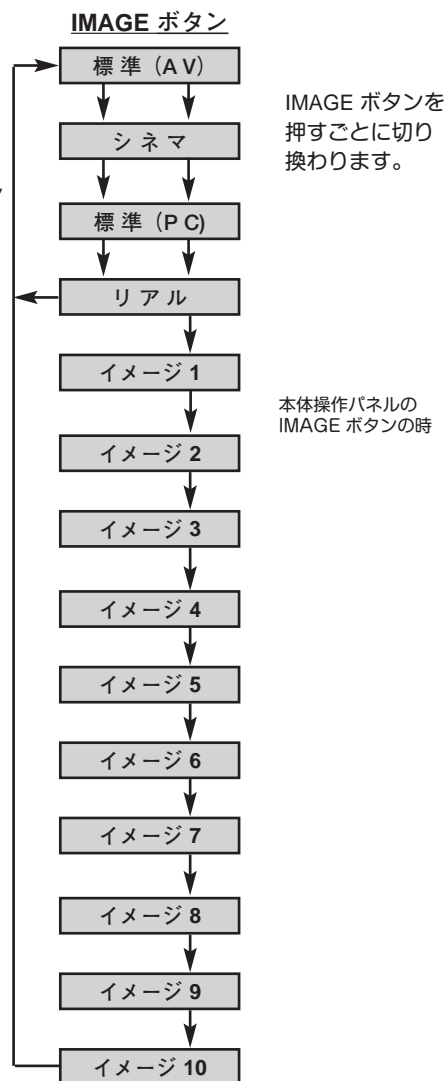
「コントラスト」「明るさ」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

中間調の再現性が高くなります。写真等のグラフィックスを自然な階調で再現できるように設定します。

イメージ 1~10

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(41ページ参照)



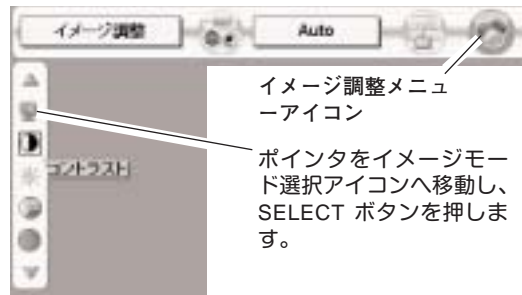
ダイレクトボタンでイメージモードを選択する

リモコンのイメージボタン (IMAGE 1~IMAGE 10) で登録されたイメージモードが直接選択できます。

イメージ調整メニューでイメージモードを選択する

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをイメージ調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろしてイメージモード選択アイコンへ移動し、SELECT ボタンを押します。もう一度SELECT ボタンを押すとイメージモード選択画面が現われます。ポイントボタン下でポインタをお好みのイメージモードに合わせ、SELECT ボタンで選びます。

イメージ調整メニュー



標準 (AV)

「コントラスト」「明るさ」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質になります。

標準 (PC)

「コントラスト」「明るさ」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

中間調の再現性が高くなります。写真等のグラフィックスを自然な階調で再現できるようになります。

イメージ 1~10

イメージ調整メニューでマニュアル調整し、登録した画質を呼び出します。(次ページ参照)

ポインタをお好みのイメージモードのアイコンへ移動し、SELECT ボタンを押します。

選択中のイメージモード

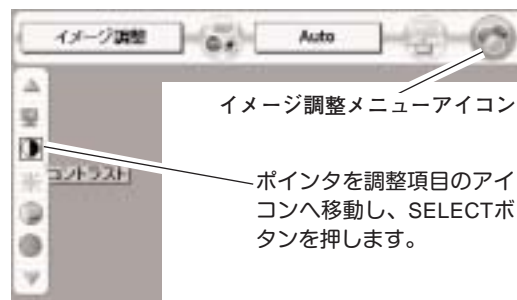


マニュアルでイメージ調整を行なう

マニュアルでのイメージ調整は、コンピュータ入力、ビデオ入力、いずれの入力でも行なうことができます。選択した入力端子の種類、信号によって表示されるメニュー項目（アイコン）が異なります。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポイントをイメージ調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポイントを調整したい項目のアイコンに合わせ、SELECT ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右などで行ないます。
- 3 調整した内容を記憶します。

イメージ調整メニュー



メモリー

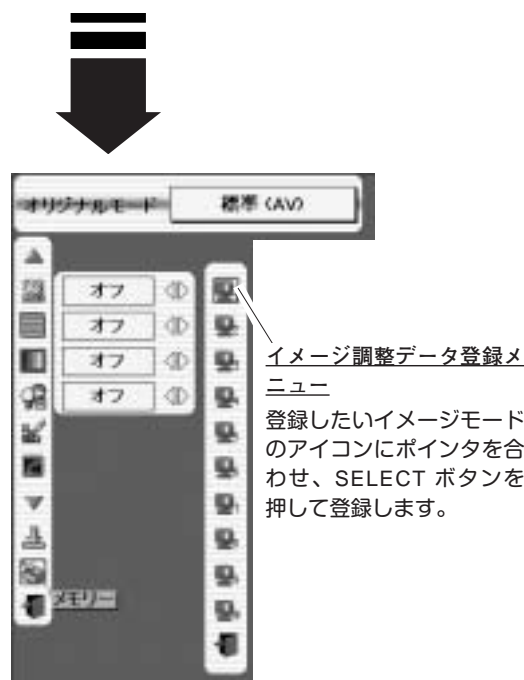
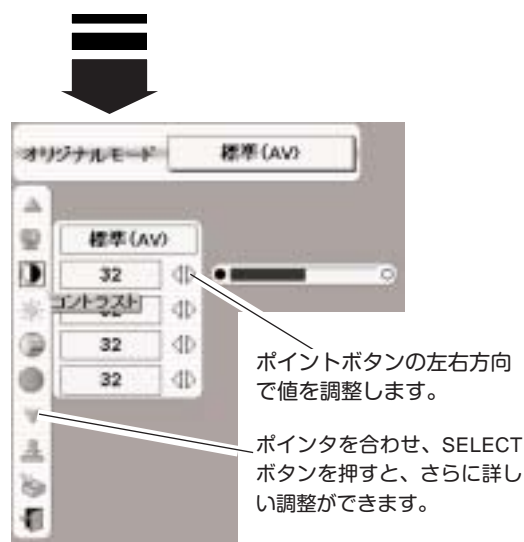
ポイントをメモリーアイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現われます。登録したいイメージモード（イメージ 1 から 10 までのいずれか）にポイントを合わせ、SELECT ボタンを押して登録します。

リセット

調整した内容がキャンセルされ、調整前の状態に戻ります。

戻る

メニューを終了します。



各項目の調整



コントラスト

ポイントボタン左でコントラストが薄くなり、ポイントボタン右でコントラストが濃くなります。(0 から 63 まで)



明るさ

ポイントボタン左で映像が暗くなり、ポイントボタン右で映像が明るくなります。(0 から 63 まで)



色の濃さ *

ポイントボタンの左で色が薄くなり、ポイントボタンの右で色が濃くなります。(0 から 63 まで)



色合い *

ポイントボタン左で色が紫がかり、ポイントボタン右で色が緑がかります。(0 から 63 まで)



色温度

ポイントボタンの左右方向でお好みの色温度 (超低一低一中一高) を選択します。

※ この設定をするとホワイトバランスの調整値も変化します。

RGB ホワイトバランス (赤・緑・青)

ポイントボタンの左方向で各色調は薄くなり、ポイントボタンの右方向で各色調は濃くなります。(各色 0 から 63 まで)

※ この設定をすると色温度の表示が「調整中」になります。



画質

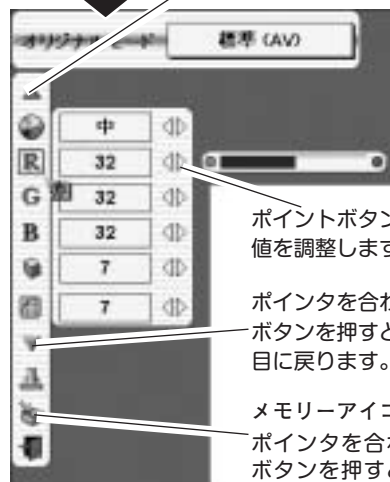
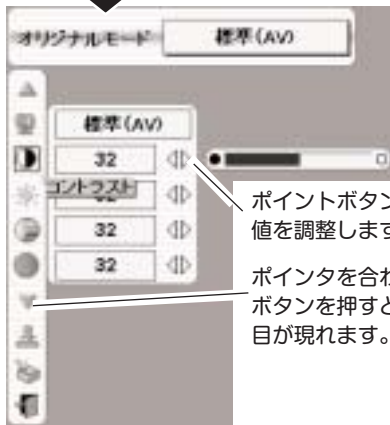
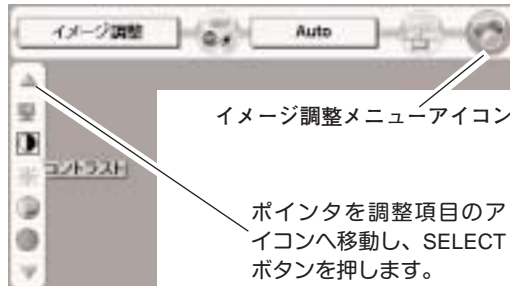
ポイントボタンの左方向で映像がやわらかくなり、ポイントボタンの右方向で映像がくっきりなります。(0 から 15 まで)



ガンマ補正

ポイントボタンの左右方向で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。(0 から 15 まで)

イメージ調整メニュー



ノイズリダクション *

ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。
古いビデオやノイズの多い映像を見るとき「L1/L2/L3」にすると、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

L1 → **L2** → **L3** の順でより効果が大きくなります。

プロGRESSIVE *

オン・・・動きの少ない映像をより鮮明に投映します。
オフ・・・動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。

※ Component入力または、SDI入力のシステムメニューで 480p、575p、720p、1080p/30、1080psf/30 の信号を選択しているときは、「プロGRESSIVE」の選択はできません。

自動画質補正

映像の暗い部分または、明るい部分のコントラストを強調します。
ポイントボタン右で、**オフ** → **L1** → **L2** の順でより強く強調されます。

※ 工場出荷時は **L1** に設定されています。

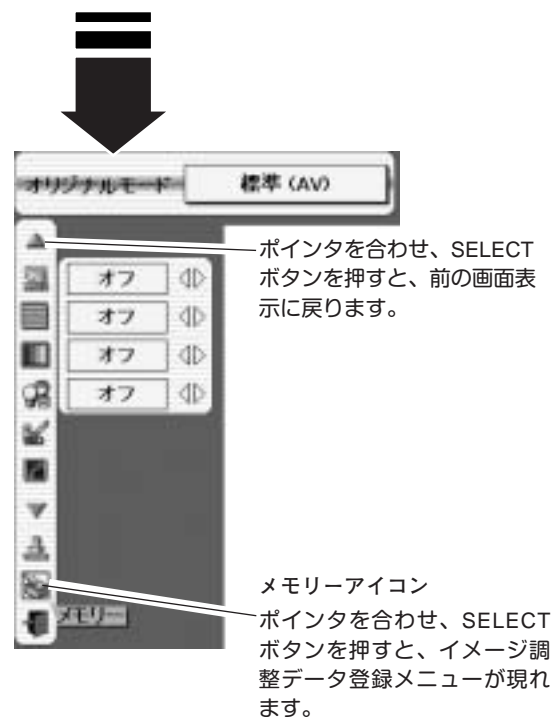
調光

オン・・・調光回路が働き、映像信号の内容により明るさを自動的に調整します。

オフ・・・明るさは一定です。

*コンピュータ入力で、RGB（アナログ）、RGB（デジタル）の信号を選択しているときは、「色の濃さ」「色合い」「ノイズリダクション」「プロGRESSIVE」の調整はできません。

また、コンピュータ入力で、RGB(HDCP)信号のD-480p、D-575p、D-720p、D-1080pを選択しているときは、「プロGRESSIVE」の調整はできません。



 カラーマネージメント

カラーマネージメントは、投映画面の任意の点をサンプリングし、このサンプリング点のカラーレベル、位相、ガンマを好みの画質に調整し、これを画面全体に反映させ好みの映像に調整する事が出来ます。

- 1 ポイントボタンで「カラーマネージメント」を選択し、SELECTボタンを押します。ポインターが画面に現れます。
- 2 ポイントボタンで、ポインターを画面の調整したいカラー部分に動かし、SELECTボタンを押します。画面が静止画面となり、カラー選択画面が出ます。
- 3 ポイントボタンでカラーのレベル(LEVEL)と位相(PHASE)を選択し、SELECTボタンを押します。調整のポインター（黄色にハイライト）がGAMMA調整に移ります。
- 4 ポイントボタンでガンマレベルを調整し、SELECTボタンを押します。

※カラーのレベル(LEVEL)と位相(PHASE)、また、ガンマの調整中は、調整内容が投映画面に反映されます。

画面の各ボタンは以下の動作をします。ポイントボタンで項目を選択し、SELECTボタンを押します。

LIST カラーマネージメントリストが現れ、調整した内容がリストされます。

COLOR. M.... 手順 1. に戻り、ポインターが画面に現れます。

MENU..... 確認画面が出ます。“はい” を選択するとメニュー画面に戻ります。

カラーマネージメントリスト

カラー選択画面でLISTボタンを押すと、カラー選択画面の調整内容が登録されます。

この中には32個の調整内容を登録することが出来ます。

この中の各ボタンは、以下のはたらきをします。

ALL DEL..... リストされた全ての調整データが削除されます。

COLOR. M.... 手順 1. に戻り、ポインターが画面に現れます。

MENU..... 確認画面が出ます。はいを選択するとメニュー画面に戻ります。

この中にリストされた調整内容（チェックマークが付いたもの）が画面に反映されます。画面に反映したくない項目は、ポイントボタンでリストの番号の後を選択し、SELECTボタンを押し、チェックマークを外します。もう一度SELECTボタンを押すとチェックマークがつきます。

リストのDELの項目に選択ポインターを持っていき、DELボタンを押すと、その調整項目が削除されます。

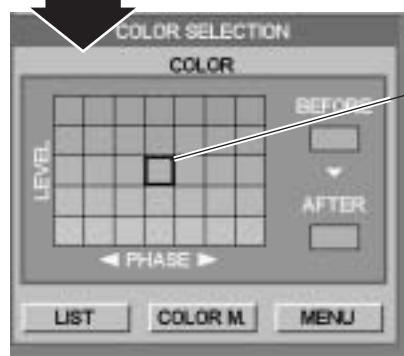
※ カラーマネージメントで調整された内容はメモリーせずに、プロジェクターの電源スイッチを切ると全て消えます。



ポインター

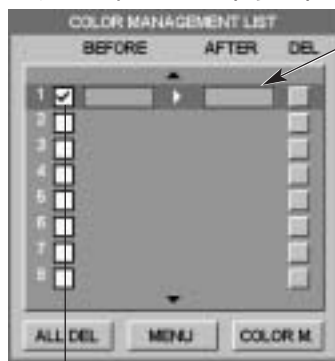


カラーマネージメントポインター
ポイントボタンでポインターを画面の調整したいカラーの部分に移動し、SELECTボタンを押します。カラー選択画面が出ます。



ポインター (赤枠)

カラーマネージメントリスト



ポイントボタンで調整リストを選択し、SELECTボタンを押します。確認の画面が出ます。



適用したくない調整項目は、このチェックマークを外します。

”はい”を押すと、メニュー画面に戻ります。



ガンマ補正

ガンマバランスは画面のR, G, B のガンマ曲線を調整します。
好みの画質に調整し好みの映像に出来ます。

- 1 ポイントボタンで「ガンマ補正」を選択し、SELECTボタンを押します。
ガンマカーブ調整画面に現れます。
- 2 ポイントボタン（レフト/ライト）で、9つの箇所（R P1、R P2、R P3、G P1、G P2、G P3、B P1、B P2、B P3）の数値をポイントボタン（アップ/ダウン）で調整します。

リセット

調整した内容がキャンセルされ、調整前の状態に戻ります。

戻る

メニューを終了します。

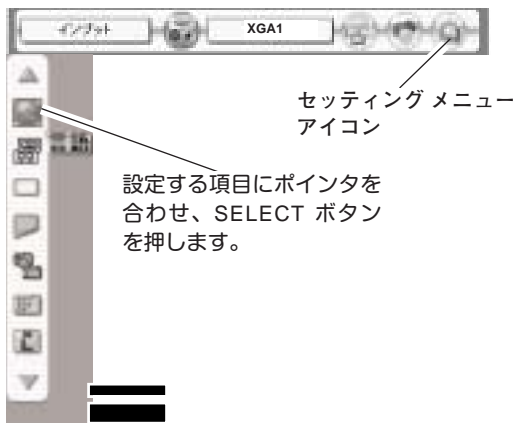


各種セッティング

各種機能のセッティングを行います。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン上下でポインタを設定する項目のアイコンに合わせ、SELECT ボタンで選択します。
選んだ項目の設定画面が現われます。

セッティングメニュー



設定する項目にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。

言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語の12か国語の中から選べます。

ランプモード

本機にはランプが4個搭載されていますが、プロジェクターを使う場所によってランプを4灯点灯と、2灯点灯に切り換えて使うことができます。あまり明るい画面を必要としない投映や、投映場所が比較的暗い場所では2灯点灯でご使用ください。ランプ寿命を長くしてご使用になれます。

4灯・・・4灯のランプを点灯させます。

2灯・・・2灯のランプを点灯させます。

※ 4灯から2灯へ切り換えた場合、ランプが2灯へ切り換えられ、少し暗くなります。2灯から4灯へ切り換えた場合は、ランプ点灯準備のためすぐに明るくならず、約60秒後に4灯点灯の明るさになります。

※ 4灯から2灯へ切り換えた後再び4灯へ切り換える場合、約90秒間はランプ点灯準備のため切り換えができません。

ブルーバック

信号のないときにブルーの画面にする機能です。この機能を「オン」にすると、画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずにブルーの画面を映します。

オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

オン・・・すべての画面表示を出します。

オフ・・・以下の画面表示以外は出しません。

- ・メニューバー表示 (30ページ参照)
- ・パワーマネジメントモード時のタイマー表示 (47ページ参照)
- ・電源を切るときの「もう1度押すと電源が切れます」の表示 (24ページ参照)

メニューサイズ

メニューの表示サイズを変更する機能です。ポイントボタンの左右方向で好みのサイズ(標準、倍角)を選択します。

言語のアイコンを選択すると言語メニューが現われます。



選択したい項目にポインタを合わせ、ポイントボタンの左右で設定します。

表示画面



メニュー位置

メニューが表示される位置を調整する機能です。ポイントボタン上・下・右・左でお好みの位置に表示させることができます。

ロゴ

この機能を「オフ」にすると、電源を入れたときのロゴ表示を画面に出しません。

天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆に吊り下げて設置するときに使います。

※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投映するときに使います。

パワーマネジメント

パワーマネジメント機能の動作設定を行ないます。
 オフ・・・パワーマネジメント機能を解除します。
 待機・・・設定された時間が経つとランプが消灯しランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了すると READY インジケータが点滅を始めます。この時信号が入力されたり、プロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。
 シャットダウン・・・設定された時間が経つとランプが消灯し電源が切れます。

●タイマーの設定●
 ポイントボタンの左右でパワーマネジメント機能が動作を開始するまでの時間を設定します。1～30 分の範囲で設定できます。パワーマネジメント動作について詳しくは24 ページを参照ください。

※ 工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。

オンスタート

電源コードを接続すると、リモコンや操作パネルの ON-OFF ボタンを押さなくても自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

オン・・・主電源スイッチをONにしておき電源コードを接続すると、同時にプロジェクターの電源が入ります。

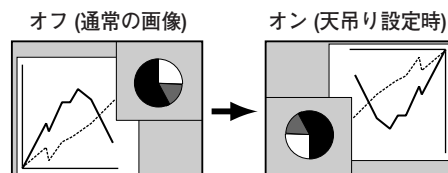
オフ・・・通常の電源の入り・切りを行ないます。電源コードを接続しても、リモコンまたは操作パネルの ON-OFF ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

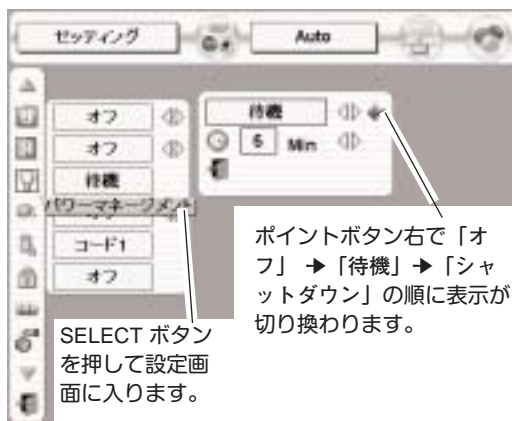
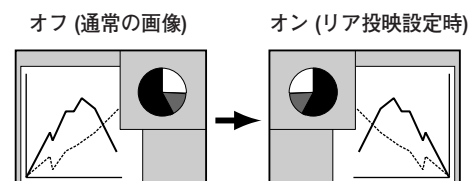
表示画面



天吊り機能



リア投映機能



ランプ消灯までの時間



リモコンコード

本機は 8種類のリモコンコード（「コード1」～「コード8」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。

工場出荷時は「コード1」に設定されています。

リモコンコードを他のコード（「コード2」～「コード8」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換える必要があります。

プロジェクターのリモコンコードを切り換えるにはセッティングメニューのリモコンコードを選択し、設定するコードを選択します。

リモコンコードの切り換えは、リモコンの本体で行ないます。（17ページ「リモコンコードの設定」参照）



※ 設定されたリモコンコードは電源を切っても有効です。



キーロック

操作ボタンのロックを行ない、プロジェクターが第三者によって操作されることを防ぐ鍵の動きをします。

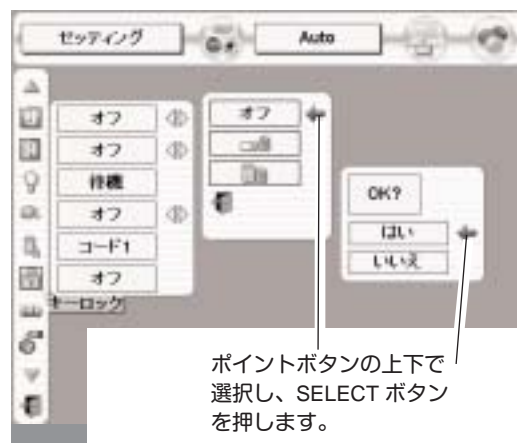
オフ・・・操作パネルからの操作をロックします。

リモコン・・・リモコンの操作をロックします。

オフ・・・キーロックを解除します。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

※ 解除できなくなったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。



ポイントボタンの上下で選択し、SELECT ボタンを押します。



ランプカウンターリセット

ランプカウンターをリセットするメニューです。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACE インジケータ(黄)の点灯が消えます。



注意

光源ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

- 1 ポイントボタン下でポインタを「ランプカウンターリセット」のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。ランプ選択メニューが現れます。交換したランプにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。
- 2 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、ポイントボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

ランプカウンターリセット



「ランプカウンターリセット」のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すとランプ選択メニューが現われます。交換したランプにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。

「ランプカウンターリセット？」の表示が現れます。「はい」にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。



初期設定

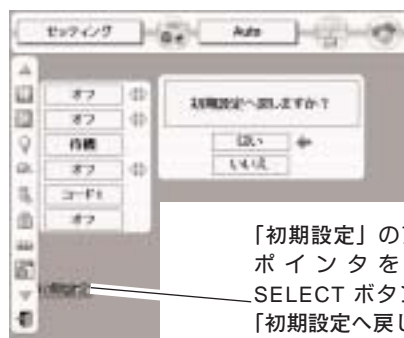
ランプカウンター（点灯時間）以外の各設定を工場出荷状態に戻します。

※ この設定は電源・主電源を切っても有効です。

●**ご注意**●

この設定が実行されると、お客さまが設定されていた内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

初期設定



「初期設定」のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと「初期設定へ戻しますか？」の表示が現われます。

カードスロット式接続端子の交換

接続端子の入れ替え可能なカードスロット式接続端子により、端子カードの入れ替えで外部機器またはシステム組み込みに合わせてプロジェクターを使用することができます。

カードスロット式接続端子の交換のしかた

- 1 交換する接続端子のネジ2本を外します。(図1参照)
- 2 接続端子の両側のハンドルを持ち、接続端子をプロジェクター本体から引き出します。(図1参照)
- 3 接続端子をガイドに沿って差し込みます。接続端子のソケットがプロジェクター本体奥のプラグに正しく接続されるように、奥までしっかりと差し込んでください。(図2参照)
- 4 ネジ2本で接続端子を固定します。(図2参照)

※ 図は BNC x 5ピン接続端子を DVI 接続端子に交換する場合は示しています。

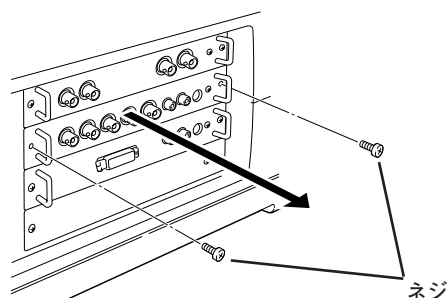


図1. 接続端子の外しかた

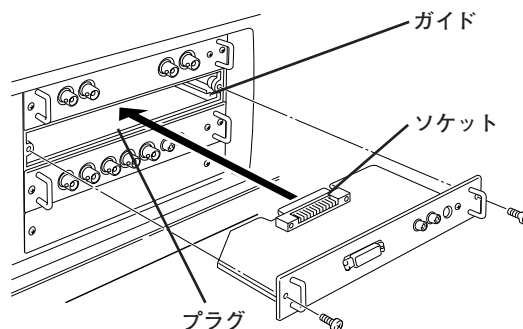


図2. 接続端子の取り付けかた

⚠ 注意

接続端子の取り外し、取り付けはプロジェクターの電源を切って行ってください。電源を入れたままで取り付け、取り外しを行うと、接続端子およびプロジェクター破損の原因となります。

別売インターフェイスボード（接続端子）のご使用について

別売のインターフェイスボードをご使用になるときは、取扱販売店にご相談ください。取扱販売店にご相談頂くとき、プロジェクターのオプションコントロールナンバーもご連絡ください。

オプションコントロールナンバーは、操作メニューの中の言語選択表示の下部に表示されています。(右図参照)

※ 関連操作メニュー（46ページ）を参照ください。



↑
オプションコントロールナンバー
Op. cont. No. 08
↑
このナンバーをご連絡ください。

光源ランプの交換

LAMP REPLACEインジケータの点灯

ランプの寿命が近づいたり、故障や寿命になると LAMP REPLACE インジケータ (黄) が点灯または点滅します。ランプステータス表示 (25、26ページ参照) で該当ランプをご確認のうえ、ランプ交換を行なってください。LAMP REPLACE インジケータは、ランプを交換するまで電源「ON」(入) のときに点灯または点滅します。

光源ランプの交換のしかた

ランプ交換はランプハウスごとに行ないます。必ず指定のランプハウスを取り付けてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

- ・交換ランプの品番：POA-LMP100 (サービス部品コード：610 327 4928)
- ・プロジェクターの品番：LP-HD2000

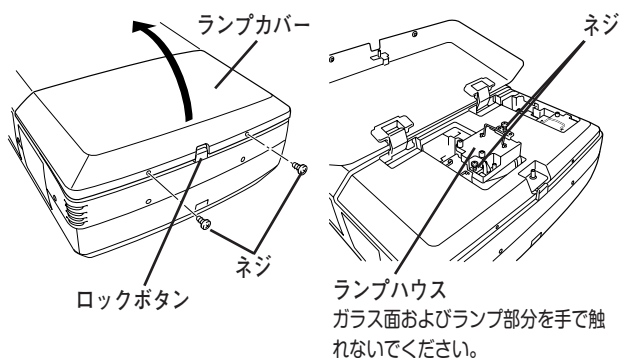


注意



動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、1時間以上冷却してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをする恐れがあります。

- 1 主電源を切り、電源コードを抜きます。必ず1時間以上放置してください。
- 2 (+)ドライバーで2本のネジを外し、ロックボタンを押してランプカバーを開けます。
- 3 交換を必要とするランプ番号表示のあるランプハウスの2本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。
- 4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2本のネジを締めて固定します。
- 5 ランプカバーを閉じ、2本のネジを締めて固定します。



● ランプは4個同時に交換することをおすすめします ●

バランスのとれた明るさおよび色合いを保つため、ランプ交換をするときは、4個のランプを同時に交換することをおすすめします。

⚠ 注意

ランプの一部を取り外した状態でプロジェクターの電源を入れないでください。破損の原因となります。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACE インジケータ(黄)の点灯が消えます。

「ランプカウンターのリセット」のしかたは、48ページのランプカウンターリセットの設定を参照ください。

⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（LAMP REPLACE インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行なってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店または当社サービスステーションへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

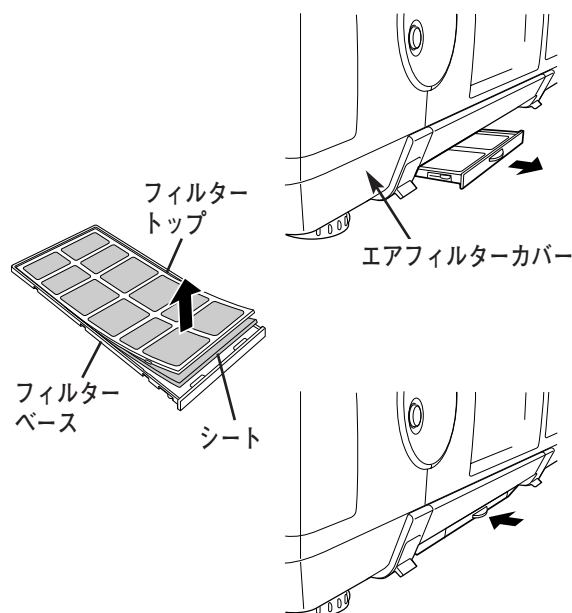
⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

エアフィルターの掃除

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障の原因になります。エアフィルターは、こまめに掃除してください。

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行ってください。
- 2 エアフィルターを引き出します。(右図参照)
- 3 フィルタートップの中央部のフレームを上引き上げてフィルタートップとシートをフィルターベースから外します。
- 4 ブラシでフィルタートップ、フィルターベース、シート、フィルター取り付け部周辺などのホコリを取ります。
- 5 シートとフィルタートップをフィルターベースに取り付け、プロジェクター本体に差し込みます。



掃除の目安

一般的に約200時間で使用になるたびにエアフィルターを掃除してください。

※ ご使用の環境や、ご使用时间によってエアフィルターの汚れは変わりますが、こまめに掃除することをおすすめします。

シートの汚れがひどいときは、汚れを掃除機で吸い取ってから取り付けてください。取り替え用シート(別売)は、お買い上げの販売店にご相談ください。

取り替え用 エアフィルターシート の品番 : 910 301 4815

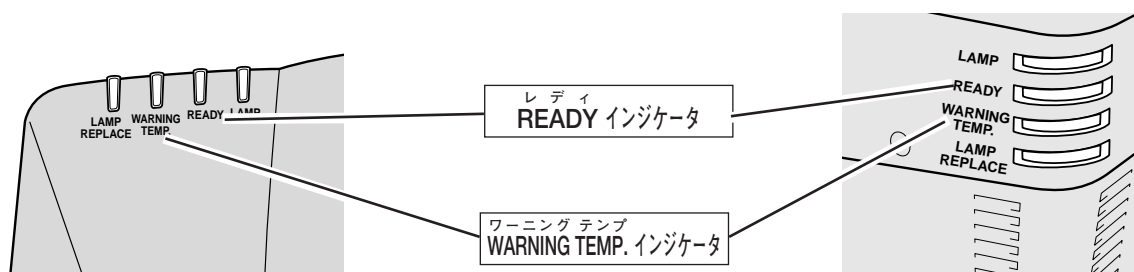
取り替え用 エアフィルタートップ の品番 : 910 287 2638

取り替え用 エアフィルターベース : 910 285 9035

⚠ お掃除の際にご注意ください

- ・ エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- ・ エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- ・ エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

内部の温度上昇について



本体前方インジケータ部

本体後方インジケータ部

WARNING TEMP. インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると WARNING TEMP. インジケータ (赤) が点滅し、保護のために自動的に電源が切れ、READY インジケータも消えます。(WARNING TEMP. は点滅を続けます。) 温度が下がると READY インジケータが点灯し、リモコンおよび本体の ON-OFF ボタンで電源を入れることができます。このとき WARNING TEMP. の点滅が消えます。WARNING TEMP. インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

- ・ 底面のエアフィルターにホコリがたまっていませんか。フィルターを掃除してください。
- ・ 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- ・ 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲：5℃～35℃)
- ・ 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

電源を入れるときは、READY インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び WARNING TEMP. インジケータが点滅して電源が切れます。

プロジェクターの電源が切れ、WARNING TEMP. と READY インジケータが点滅しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、WARNING TEMP. と READY インジケータが点滅を始めます。このとき、リモコンおよび本体の ON-OFF ボタンでの電源入り切りはできなくなります。このような時は、電源プラグをコンセントから抜き、プロジェクターの点検を取扱販売店、またはサービス会社にご依頼ください。電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

プロジェクターの電源を再び入れ、プロジェクターを点検するときは、本体の主電源スイッチを一旦切るか、または電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れ直してください。再び電源が切れ、WARNING TEMP. と READY インジケータが点滅する場合、内部の点検と修理が必要です。サービス会社へ修理をご依頼ください。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは、下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

| インジケータの名称と点灯状態 | | | | プロジェクターの状態 |
|-------------------|--------------------|------------|-----------|--|
| LAMP REPLACE 黄 | WARNING TEMP. 赤 | READY 緑 | LAMP 赤 | |
| | | | | メインスイッチが OFF になっているか、電源コードがコンセントから抜けています。 |
| ※ | | | | プロジェクターはスタンバイ状態です。ON-OFF ボタンを押すと動作します。 |
| ※ | | | | プロジェクターは正常に動作しています。 |
| ※ | | | | プロジェクターの内部温度が高くなると、WARNING TEMP. が点滅を始め READY インジケータが消え、自動的に電源が切れます。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、下記枠内の状態となります。(WARNING TEMP. は点滅したままです。) エアフィルターの点検などを行なってください。 |
| ※ | | | | 内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。ON-OFF ボタンを押すと、WARNING TEMP. の点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。 |
| ※ | | | | ランプの冷却中です。READY インジケータが点灯するまで、電源を入れることはできません。 |
| ※ | | | | プロジェクターの内部に異常が検出されました。ON-OFF ボタンを入れても電源は入りません。一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をサービス会社へご依頼ください。点灯したまま放置しないでください。火災や感電の原因となります。 |
| ※ | | | | パワー管理モードになっています。プロジェクターを操作すると、ランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。 |

…点灯：赤
 …点滅：赤
 …点灯：緑
 …点滅：緑
 …消灯
 …暗点灯

※…LAMP REPLACE が点灯するとランプの寿命です。(正常時は消灯) すみやかにランプを新しいものと交換してください。ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。(51ページ参照)

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、次のことをお確かめください。

| こんなときは | ここを確認してください |
|-------------|--|
| 電源が入らない | <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードは接続されていますか。 ● 主電源スイッチ (MAINS SW) は「ON」(入) になっていますか。 ● ON-OFF ボタンを再度押してみてください。 ● READY インジケータ<緑>が消えているときは、ON-OFF ボタンを押しても電源が入りません。(14、23、54、55 ページ参照) ● WARNING TEMP. インジケータ<赤>が点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、READY インジケータ<緑>が消えているときは、ON-OFF ボタンを押しても電源が入りません。温度が下がるまでお待ち下さい。 WARNING TEMP. インジケータ<赤>及びREADY インジケータ<緑>が点滅しているときは内部の故障が考えられます。(54 ページ参照) |
| 画像が映らない | <ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。(20、21 ページ参照) ● 電源を入れたあと約30秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。(23ページ参照) ● レンズキャップをとりましたか。 ● コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。(33、34 ページ参照) ● 使用温度範囲 (5℃～35℃) からはずれていませんか。 ● NO SHOW モードになっていませんか。NO SHOW ボタンを押してみてください。 |
| 画像が不鮮明 | <ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。(27ページ参照) ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。(別冊の「レンズ交換・取付作業手順書」参照) ● スクリーンに対して過度に斜めに投射しているときは、画面に台形ひずみ(あおり)ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。(19ページ参照) ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。 ● レンズシフト機能で画面位置を変えたときは、多少画面が暗くなる場合があります。 |
| リモコンで操作できない | <ul style="list-style-type: none"> ● 電池は正しく入っていますか。+-を正しく入れてください。(16ページ参照) ● 電池がなくなっていないですか。新しい電池と交換してください。(16ページ参照) ● 電源コードは接続されていますか。接続を確認してください。(22ページ参照) ● 本体の主電源スイッチ (MAINS SW) は「ON」(入) になっていますか。主電源スイッチを入れてください。(23ページ参照) ● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 ● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。(16ページ参照) ● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。(17、48ページ参照) ● リモコンのリセットスイッチがリセット側に成っていませんか？(15、17ページ参照) |

コンピュータシステムモード一覧

コンピュータの信号がアナログの場合

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(カスタムモードは含みません。) 接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

| システムモード | 解像度 | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) | システムモード | 解像度 | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) |
|---------|-------------------------|-------------|------------|----------|--------------------------|-------------|------------|
| 480i | 640 x 480 (インターレース) | 15.734 | 60.00 | SXGA 10 | 1280 x 960 | 60.00 | 60.00 |
| 575i | 768 x 576 (インターレース) | 15.625 | 50.00 | SXGA 11 | 1152 x 900 | 61.20 | 65.20 |
| 480p | 640 x 480 (プログレッシブ) | 31.47 | 59.88 | SXGA 12 | 1152 x 900 | 71.40 | 75.60 |
| 575p | 768 x 575 (プログレッシブ) | 31.25 | 50.00 | SXGA 13 | 1280 x 1024 (インターレース) | 50.00 | 86.00 |
| XGA 1 | 1024 x 768 | 48.36 | 60.00 | SXGA 14 | 1280 x 1024 (インターレース) | 50.00 | 94.00 |
| XGA 2 | 1024 x 768 | 68.677 | 84.997 | SXGA 15 | 1280 x 1024 | 63.37 | 60.01 |
| XGA 3 | 1024 x 768 | 60.023 | 75.03 | SXGA 16 | 1280 x 1024 | 76.97 | 72.00 |
| XGA 4 | 1024 x 768 | 56.476 | 70.07 | SXGA 17 | 1152 x 900 | 61.85 | 66.00 |
| XGA 5 | 1024 x 768 | 60.31 | 74.92 | SXGA 18 | 1280 x 1024 (インターレース) | 46.43 | 86.70 |
| XGA 6 | 1024 x 768 | 48.50 | 60.02 | SXGA 19 | 1280 x 1024 | 63.79 | 60.18 |
| XGA 7 | 1024 x 768 | 44.00 | 54.58 | SXGA 20 | 1280 x 1024 | 91.146 | 85.024 |
| XGA 8 | 1024 x 768 | 63.48 | 79.35 | SXGA 21 | 1400 x 1050 | 63.90 | 60.00 |
| XGA 9 | 1024 x 768 (インターレース) | 36.00 | 87.17 | SXGA+ 1 | 1400 x 1050 | 63.97 | 60.19 |
| XGA 10 | 1024 x 768 | 62.04 | 77.07 | SXGA+ 2 | 1400 x 1050 | 65.35 | 60.12 |
| XGA 11 | 1024 x 768 | 61.00 | 75.70 | SXGA+ 3 | 1400 x 1050 | 65.12 | 59.90 |
| XGA 12 | 1024 x 768 (インターレース) | 35.522 | 86.96 | WXGA 1 | 1366 x 768 | 48.36 | 60.00 |
| XGA 13 | 1024 x 768 | 46.90 | 58.20 | WXGA 2 | 1360 x 768 | 47.70 | 60.00 |
| XGA 14 | 1024 x 768 | 47.00 | 58.30 | WXGA 3 | 1376 x 768 | 48.36 | 60.00 |
| XGA 15 | 1024 x 768 | 58.03 | 72.0 | WXGA 4 | 1360 x 768 | 56.16 | 72.00 |
| SXGA 1 | 1152 x 864 | 64.20 | 70.40 | UXGA 1 | 1600 x 1200 | 75.00 | 60.00 |
| SXGA 2 | 1280 x 1024 | 62.50 | 58.60 | UXGA 2 | 1600 x 1200 | 81.25 | 65.00 |
| SXGA 3 | 1280 x 1024 | 63.90 | 60.00 | UXGA 3 | 1600 x 1200 | 87.50 | 70.00 |
| SXGA 4 | 1280 x 1024 | 63.34 | 59.98 | UXGA 4 | 1600 x 1200 | 93.750 | 75.00 |
| SXGA 5 | 1280 x 1024 | 63.74 | 60.01 | 720p | (プログレッシブ) | 45.00 | 60.00 |
| SXGA 6 | 1280 x 1024 | 71.69 | 67.19 | 1035i | (インターレース) | 33.75 | 60.00 |
| SXGA 7 | 1280 x 1024 | 81.13 | 76.107 | 1080i/60 | (インターレース) | 33.75 | 60.00 |
| SXGA 8 | 1280 x 1024 | 63.98 | 60.02 | 1080i/50 | (インターレース) | 28.125 | 50.00 |
| SXGA 9 | 1280 x 1024 | 79.976 | 75.025 | | | | |

コンピュータの信号がデジタルの場合

| システムモード | 解像度 | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) | システムモード | 解像度 | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) |
|---------|------------------------|-------------|------------|------------|--------------------------|-------------|------------|
| D-VGA | 640 x 480 | 31.47 | 59.94 | D-SXGA1 | 1280 x 1024 | 63.98 | 60.02 |
| D-480p | 720 x 480 (プログレッシブ) | 31.47 | 59.88 | D-SXGA2 | 1280 x 1024 | 60.276 | 58.069 |
| D-575p | 768 x 575 (プログレッシブ) | 31.25 | 50.00 | D-SXGA+ 1 | 1400 x 1050 | 63.970 | 60.19 |
| D-SVGA | 800 x 600 | 37.879 | 60.32 | D-UXGA | 1600 x 1200 | 75.00 | 60.00 |
| D-XGA | 1024 x 768 | 43.363 | 60.00 | D-720p | 1280 x 720 (プログレッシブ) | 45.00 | 60.00 |
| D-WXGA1 | 1366 x 768 | 48.36 | 60.00 | D-1035i | 1920 x 1035 (インターレース) | 33.75 | 60.00 |
| D-WXGA2 | 1360 x 768 | 47.70 | 60.00 | D-1080i/60 | 1920 x 1080 (インターレース) | 33.75 | 60.00 |
| D-WXGA3 | 1376 x 768 | 48.36 | 60.00 | D-1080i/50 | 1920 x 1080 (インターレース) | 28.125 | 50.00 |
| D-WXGA4 | 1360 x 768 | 56.16 | 60.00 | D-1080p/60 | 1920 x 1080 (プログレッシブ) | 67.50 | 60.00 |
| D-WXGA5 | 1366 x 768 | 46.50 | 50.00 | | | | |

Dual-Link SDI 端子からデジタル信号を入力する場合

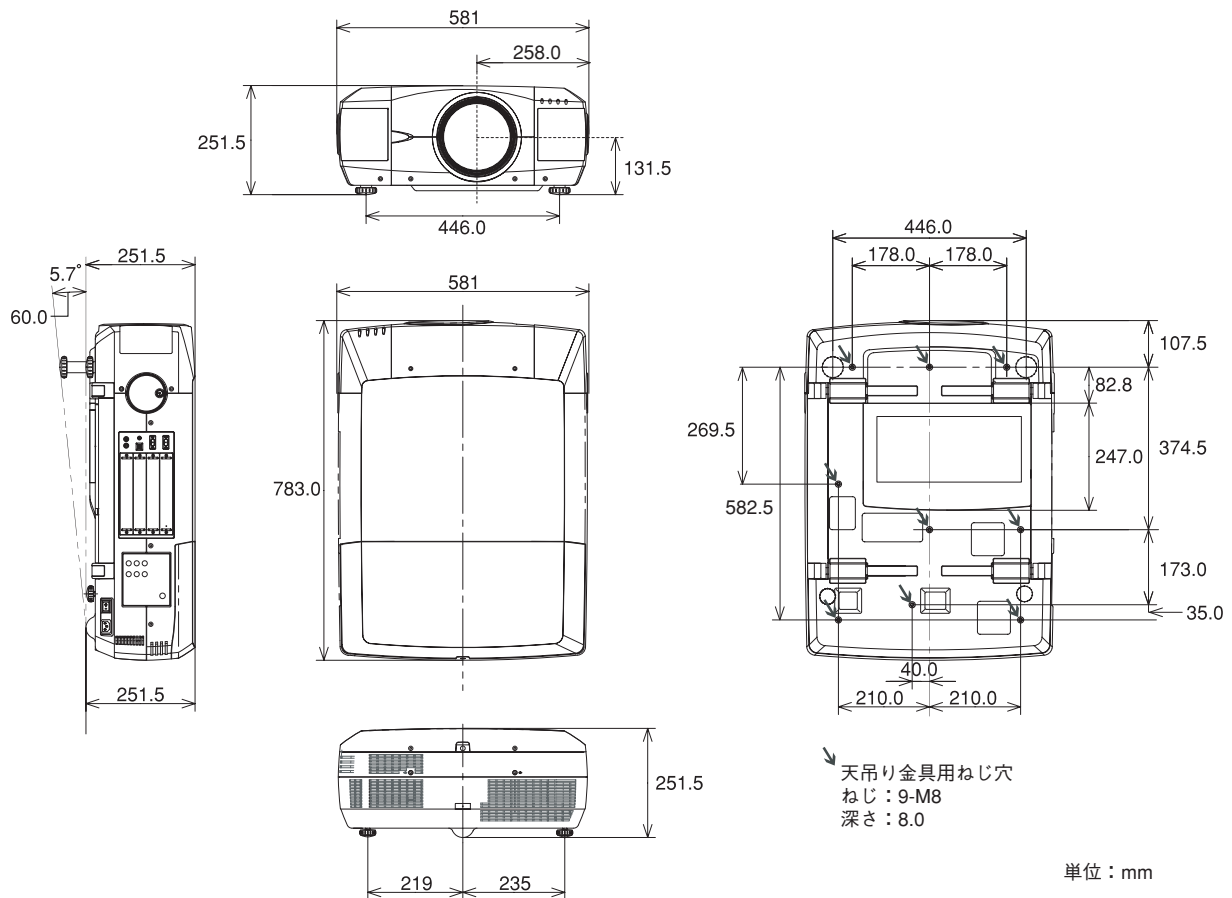
| システムモード | 解像度 | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) |
|--------------|--------------------------|-------------|------------|
| D-480i | 720 x 487 (インターレース) | 15.73 | 59.94 |
| | 720 x 507 (インターレース) | | |
| D-575i | 720 x 576 (インターレース) | 15.63 | 50.00 |
| D-720p | 1280 x 720 (プログレッシブ) | 45.00 | 60.00 |
| D-1035i | 1920 x 1035 (インターレース) | 33.75 | 60.00 |
| D-1080i/60 | 1920 x 1080 (インターレース) | 33.75 | 60.00 |
| D-1080i/50 | 1920 x 1080 (インターレース) | 28.125 | 50.00 |
| * D-1080p/60 | 1920 x 1080 (プログレッシブ) | 67.50 | 60.00 |
| * D-1080p/50 | 1920 x 1080 (プログレッシブ) | 56.25 | 50.00 |

| システムモード | 解像度 | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) |
|---------------------|--------------------------|-------------|------------|
| D-1080p/30 | 1920 x 1080 (プログレッシブ) | 33.75 | 30.00 |
| D-1080p/25 | 1920 x 1080 (プログレッシブ) | 28.13 | 25.00 |
| D-1080p/24 | 1920 x 1080 (プログレッシブ) | 27.00 | 24.00 |
| D-1080psf/30 | 1920 x 1080 (プログレッシブ) | 33.75 | 60.00 |
| D-1080psf/25 | 1920 x 1080 (プログレッシブ) | 28.13 | 50.00 |
| D-1080psf/24 | 1920 x 1080 (プログレッシブ) | 27.00 | 48.00 |
| * D-1080p/24 (2K) | 2048 x 1080 (プログレッシブ) | 27.00 | 24.00 |
| * D-1080psf/24 (2K) | 2048 x 1080 (プログレッシブ) | 27.00 | 48.00 |

* Dual-Link SDI 端子からの信号のみに対応しています。

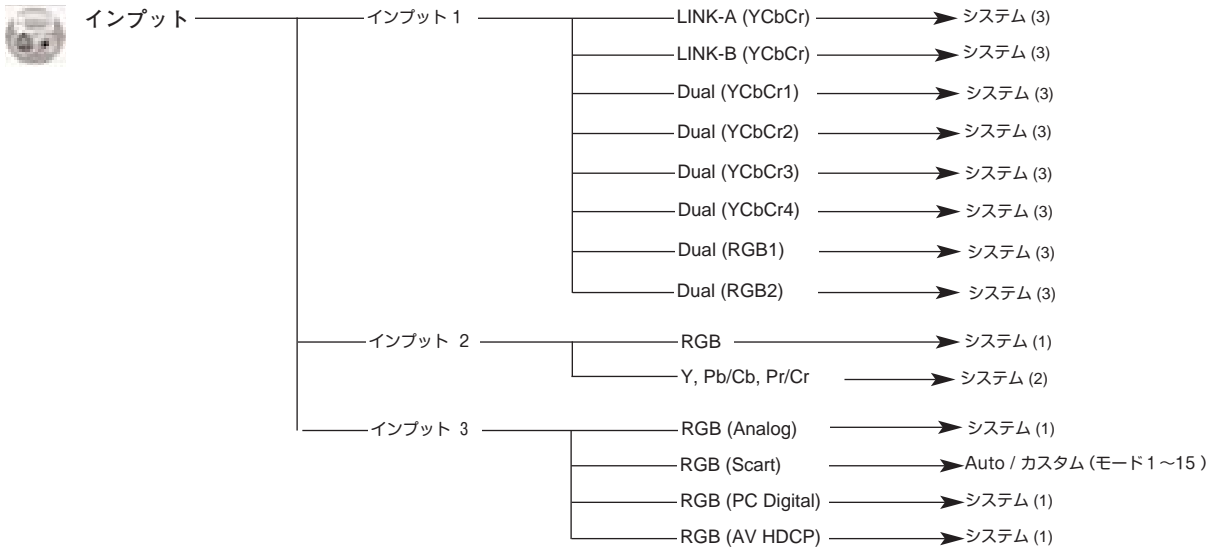
- ※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。
- ※ ドットクロックが 230MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。
- ※ 信号の種類・ご使用になるケーブルの長さや状態によっては、適切な映像にならない場合があります。
- ※ Single-link は Y/Cb/Cr フォーマットに対応しています。
- ※ Dual-link は Y/Cb/Cr 及び RGB フォーマットに対応しています。

寸法図

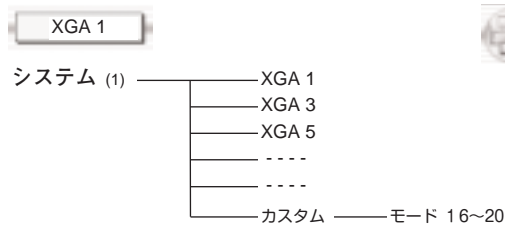


メニュー内容一覧

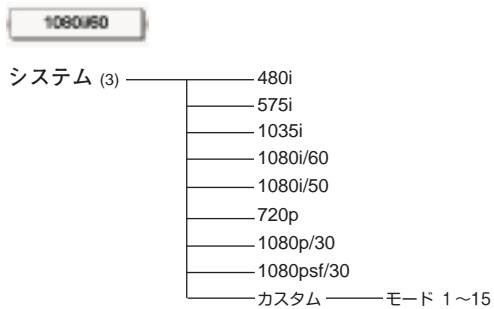
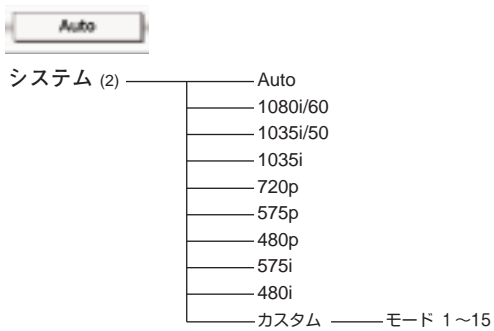
コンピュータ / ビデオ インプット



システム

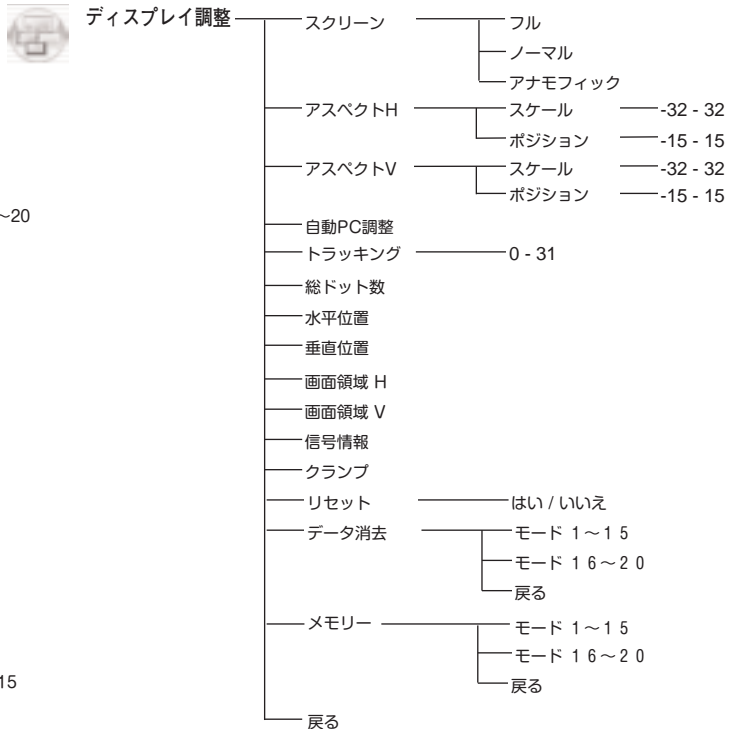


※表示される内容は入力された信号によって異なります。



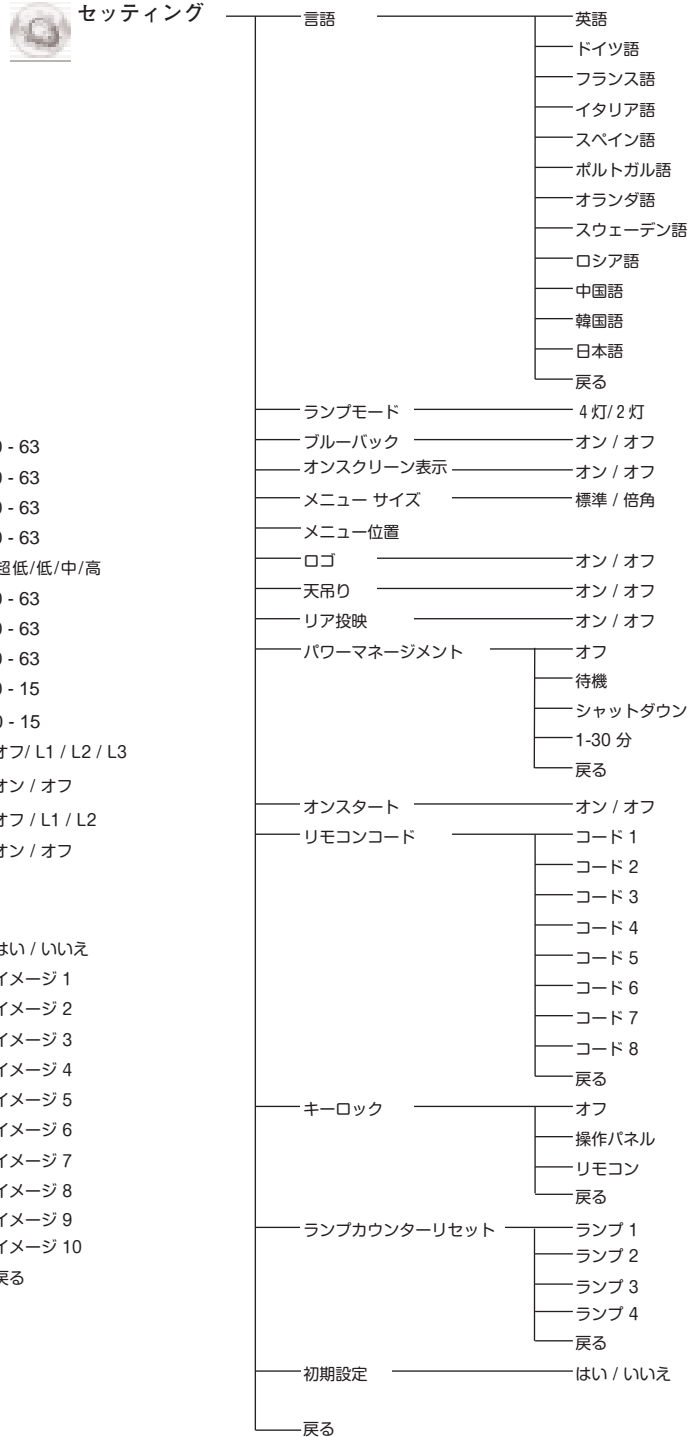
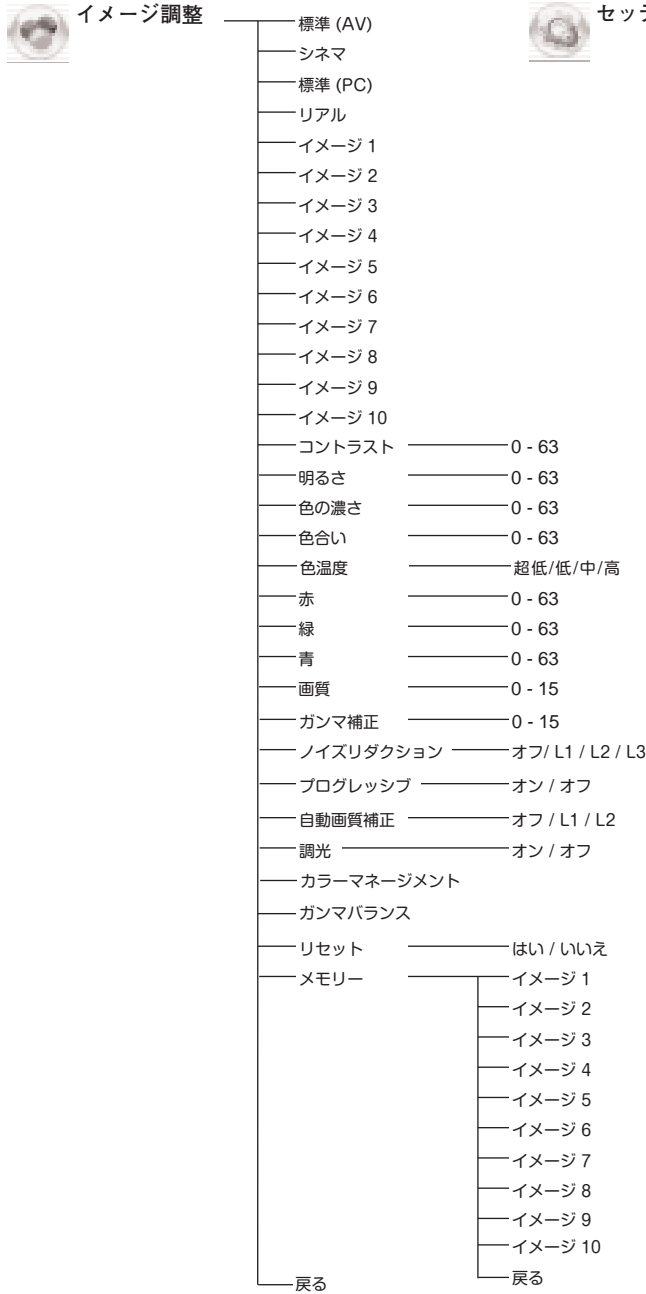
※自動判別された入力信号が表示されます。

画面調整



イメージ調整

セッティング



仕 様

プロジェクター本体

| | |
|---------------|--|
| 品 番 | LP-HD2000 |
| 種 類 | 液晶プロジェクター |
| 表示方式 | 液晶パネル 3枚 3原色光シャッター方式 |
| 液晶パネル | パネルサイズ：1.64型 表示方式：透過型TN液晶パネル 駆動方式：TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス方式 画素数：6,635,520 画素{ 2,211,840（横2,048 x 縦1,080）x3 } |
| 水平解像度 | 1100 TV本 |
| 投映レンズ | 別売 |
| 光源ランプ | 高輝度 300W ランプ x 4灯 |
| ズーム/フォーカス調整 | 電動式ズーム・フォーカス（オプションレンズによって異なります。） |
| 入出力 コンピュータ | DVI入力（1系統）：DVIコネクタ（29ピン） デジタル：TMDS（Transition Minimized Differential Signaling） アナログRGB入出力（入力1系統）：BNC x 5ピン アナログRGB信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期：TTLレベル、負または正極性 （G信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性、インピーダンス75Ω） |
| ビデオ | ビデオ入力（2系統） Pr：BNC コネクタ、0.7Vp-p、インピーダンス75Ω Y：BNC コネクタ、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω Pb：BNC コネクタ、0.7Vp-p、インピーダンス75Ω Dual-LINK SDI入出力（入力2系統・出力2系統）：BNC コネクタ、インピーダンス75Ω 音声入力（2系統）：ピンジャック（ステレオ）、142mVrms、インピーダンス47KΩ以上 （左モノ：右） |
| 音 声 | 音声モニター出力（1系統、コンピュータ / ビデオ兼用）：ピンジャック（ステレオ）、 インピーダンス1KΩ以下（左モノ：右） |
| 制御入出力、他 | USB端子（1系統）：USBコネクタ、シリーズ B、シングルポート シリアルポート（入力1系統/出力1系統）：D-sub 9ピン x 2 ワイヤードリモコン端子：ミニジャック |
| 走査周波数 | 水平 15~120KHz、垂直 24~120Hz |
| カラーシステム | 6システム（NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N） |
| 電 源 | AC200V 50/60Hz |
| 消費電力 | 1700W（待機中消費電力 20W） |
| 本体寸法 | 幅 581 x 高さ 252 x 奥行 783 mm |
| 質 量 | 37.2 Kg |

各プロジェクターによって色味が異なります。

各プロジェクターはそれぞれ異なる特性を持っています。複数台のプロジェクターを用いて同じスクリーン上、または隣り合わせて投映される場合、プロジェクターのホワイトバランスや色味の違いが感じられます。これは各プロジェクター固有の特性によるものでプロジェクターの故障ではありません

※ 高調波電流規格 JIS C 61000-3-2:2005 適合品

※HDCPとは、High-bandwidth Digital Contents Protectionの略称で、DVI を経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護システムのことです。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本機の DVI入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生投映することができます。HDCP の規格変更等が行なわれた場合、これらHDCP 技術でコピープロテクトされたデジタル映像のDVI端子での再生はできなくなる場合があります。

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投映中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

| | |
|------|------------------------|
| 電源 | DC3.0V 単3形アルカリ乾電池 2本使用 |
| 到達距離 | 約5m (受信部正面) |
| 本体寸法 | 幅50×高さ27×奥行181mm |
| 質量 | 154g (電池を含む) |

付属品

リモコン 1個、
 リモコン用 アルカリ乾電池 (単3形) 2本、
 電源コード 1本、
 取扱説明書、レンズ交換・取付作業手順書、保証書、
 遮光プレート 6種、
 レンズ取付金具 1個
 Real Color Manager Pro 1セット

別売品

- ビデオボード (Y/C) 品番：POA-MD03VD2A
- Network Board 品番：POA-MD13NET2
- レンズ レンズ交換・取付作業手順書を参照
- コンピュータ接続ケーブル (DVI用) 品番：945 043 3703
- コンピュータ接続ケーブル (DVI/D-sub 用) 品番：945 057 3973
- DVI/D-sub 15ピン変換アダプター 品番：945 043 9705
- ダストカバー 品番：910 325 5461
- リモコンコード 品番：945 015 3977

●レンズ交換について●

本機はオプションレンズを使用することにより、レンズを交換して使用することができます。
 レンズの取り付け・交換は、安全のため専門の販売技術員、または、サービス技術員にご相談ください。お客様自身での取り付け交換はしないでください。

●販売技術員・サービス技術員の方へ●

レンズの取り付け・交換は別冊のレンズ交換手順書にしたがい行ってください。レンズの取り付け・交換の前にレンズの品番を確認の上、正しいレンズをご使用ください。

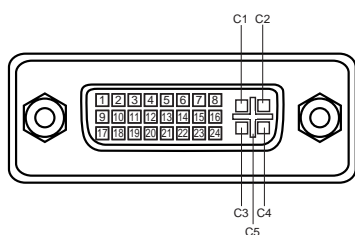
※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
 ※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
 ※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

端子の仕様

DVIデジタル / アナログ入力端子

コンピュータからのデジタル (TMDS)とアナログ (RGB)、デジタル映像 (HDCPプロテクト対応) の出力が接続できる端子です。接続には、DVI用コンピュータ接続ケーブル (別売) または、DVI/VGAコンピュータ接続ケーブル (別売) をご使用ください。

DVI 29ピン



アナログ コンタクト部

| | |
|-----------|----------------|
| C1 | アナログ R ビデオ出力 |
| C2 | アナログ G ビデオ出力 |
| C3 | アナログ B ビデオ出力 |
| C4 | アナログ水平同期 |
| C5 | アナログ RGB グラウンド |

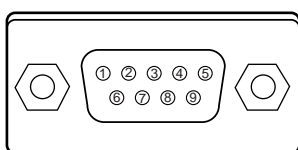
デジタル コンタクト部

| | | | | | |
|----------|---------------------|-----------|---------------------|-----------|-----------------------|
| 1 | T.M.D.S. データ 2- | 9 | T.M.D.S. データ 1- | 17 | T.M.D.S. データ 0- |
| 2 | T.M.D.S. データ 2+ | 10 | T.M.D.S. データ 1+ | 18 | T.M.D.S. データ 0+ |
| 3 | T.M.D.S. データ 2 シールド | 11 | T.M.D.S. データ 1 シールド | 19 | T.M.D.S. データ 0/5 シールド |
| 4 | 未接続 | 12 | 未接続 | 20 | 未接続 |
| 5 | 未接続 | 13 | 未接続 | 21 | 未接続 |
| 6 | DDC クロック | 14 | +5V パワー | 22 | T.M.D.S. クロック シールド |
| 7 | DDC データ | 15 | 接地 (+5V) | 23 | T.M.D.S. クロック+ |
| 8 | アナログ垂直同期 | 16 | ホットプラグ検知 | 24 | T.M.D.S. クロック- |

SERIAL PORT IN / SERIAL PORT OUT (シリアルポート入出力端子)

接続したコンピュータからプロジェクターの制御を行なうときにつなぐ「SERIAL PORT IN」端子と、2台目以降のプロジェクターも同じコンピュータから制御を行なうときに2台目以降のプロジェクターへも同じ制御信号を出力するための「SERIAL PORT OUT」端子です。

D-sub 9ピン

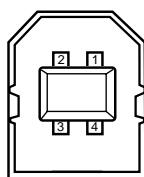


| | | | |
|----------|-------|----------|---|
| 1 | — | 6 | — |
| 2 | R x D | 7 | — |
| 3 | T x D | 8 | — |
| 4 | — | 9 | — |
| 5 | GND | | |

USB (ユニバーサルシリアルバス端子)

サービス・メンテナンスで使用する端子です。

USB コネクタ (シリーズ B)



| | |
|----------|--------|
| 1 | VCC |
| 2 | - DATA |
| 3 | + DATA |
| 4 | GND |

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。
(ただし、光源ランプは6ヶ月です)

■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

■保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に

56ページの「故障かなと思ったら」にそって故障かどうか確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときに ご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がございましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検

●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。



ご使用
中止

故障や事故防止のため、
スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ

| | |
|-------------------|-----------|
| 品番 | LP-HD2000 |
| お買い上げ年月日 | 年 月 日 |
| お買い上げ店名 | ☎ |
| 最寄りのお客さま ご相談窓口 | ☎ |

三洋電機株式会社

DIカンパニー
プロジェクタ統括BU マーケティングBU
国内販売部 国内販売課
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1